



小川 新一郎

県民が主役の政治 ー深谷市・寄居町・美里町ー

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL・FAX 048-583-6838 ✉spa783z9@wind.ocn.ne.jp

県議会6月定例会報告

補正予算【第6号・第7号】

約609億8,611万円 影響を受けた事業者支援を拡充

県議会6月定例会は6月14日から7月2日まで開催され、一般会計補正予算【第6号】121億498万6千円及び補正予算【第7号】488億8,112万1千円などを議決しました。

補正予算【第6号】の主な内容は、新型コロナまん延防止等重点措置などの影響を受けている事業者支援として、外出自粛等の影響を受けている事業者(表1)、酒類の提供自粛等の影響を受けている酒類販売事業者(表2)、宿泊事業者(表3)、地域公共交通事業者(表4)等への支援についての予算が計上されています。

補正予算【第7号】では、まん延防止等重点措置の7月11日までの延長を受け、感染防止対策協力金の支給期間延長をはじめ、生活困窮者への支援についての予算等が盛り込まれています。



▲経済・雇用対策特別委員長として委員会審査を取り仕切る小川議員。6月定例会では「埼玉県経済の動向と経済・雇用対策について」審査を行い、特にコロナ禍における雇用問題等について論議しました。

所属委員会

環境農林委員会
経済・雇用対策特別委員会 (委員長)
図書室委員会

今年度6回目の臨時議会を開催

補正予算【第8号】683億6,781万5千円

一般会計補正後累計額：
2兆3,878億7,062万2千円

県議会は7月9日、まん延防止等重点措置の8月22日までの期間延長を受け臨時議会を開催し、補正予算【第8号】を議決しました。

その内訳は、感染防止対策協力金に558億1,497万7千円、酒類販売事業者等協力金の第2期分と月間売上げが70%以上減少している事業者に特別枠を設けるための予算(2億9,109万9千円/表2)、個別接種を行う医療機関への財政支援予算(120億797万3千円)等が計上されました。

表1

埼玉県外出自粛等関連事業者協力支援金事業 52億2,717万6千円

令和3年4～6月に実施されたまん延防止等重点措置等に伴う、飲食店の営業時間短縮や不要不急の外出自粛等の影響を受けた事業者に対して協力支援金を給付する。

【対象事業者】

- 月間売上が前年又は前々年同月比で**50%以上減少**しており、国の月次支援金を受けている県内事業者

【給付金額】

- 令和3年4月・5月・6月の売上減少額 (上限額は右図のとおり、算定は単月ごと)

【給付回数】

- 協力支援金として**1事業者につき1回限り** (3か月分をまとめて給付)

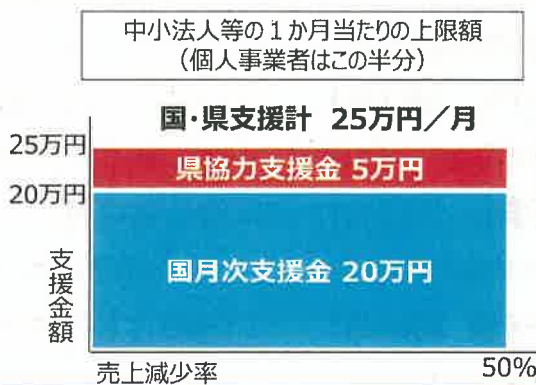


表3

宿泊事業者への支援 9億997万円

概要

外出自粛の影響を受ける宿泊事業者が感染拡大防止策の強化等に取り組む際の費用の一部について支援する。

対象者

宿泊事業者

補助対象

感染症対策に資する物品の購入経費等
・サーモグラフィやアクリル板等の導入費用
・非接触チェックインシステムの導入やWi-Fi環境の増強 等

補助率・補助上限額

補助率：各施設における事業費の2分の1

総客室数	50室以上	30～49室	10～29室	9室以下
上限額(千円)	5,000	3,000	1,000	500

表2

埼玉県酒類販売事業者等協力支援金事業

【第1期】 6億6,459万8千円 【第2期】 2億9,109万9千円

令和3年4～7月に実施されたまん延防止等重点措置等に伴う、酒類提供自粛要請の影響を大きく受けた酒類販売事業者等に対して協力支援金を給付する。また、特に甚大な影響を受けた事業者に対して**特別枠**を設け協力支援金を増額支給する。

【対象事業者】月間売上が前年又は前々年同月比で30%以上減少している県内の酒類販売事業者等

【特別枠】対象月の月間売上が前年又は前々年同月比で70%以上減少している事業者への協力支援金を増額

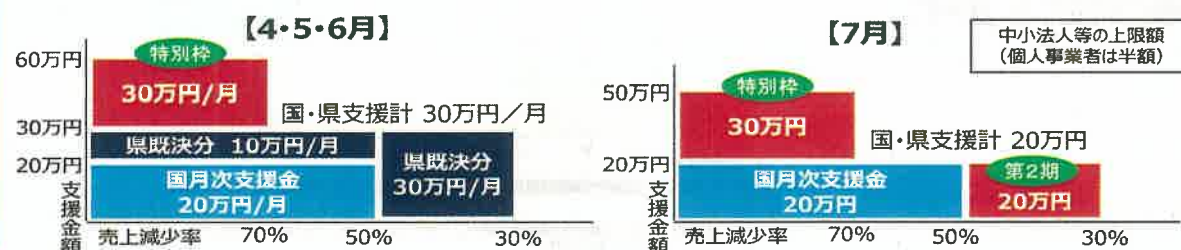


表4

地域公共交通事業者への支援 1億2,310万円

概要

業種別ガイドラインに準じた感染防止対策などを実施し利用者等に周知する地域公共交通事業者に支援金を給付する。

対象者

地域鉄道事業者、路線バス事業者、法人タクシー事業者、個人タクシー事業者

対象となる取組

- (1) 感染症対策に資する取組
光触媒の噴霧や飛散防止シートの設置 等
- (2) 利用者等への周知に係る取組
ポスター掲示(車内、駅、事業所等)、車内での放送 等

支援額

地域鉄道事業者	1法人ごと 500千円+35千円×車両両数
路線バス事業者	1法人ごと 500千円+15千円×台数
法人タクシー事業者	1法人ごと 100千円+10千円×台数
個人タクシー事業者	1者ごと 20千円

ワクチンの接種を加速させるため

熊谷さくらめいとに 集団接種会場を設置

県は新たに熊谷市をはじめ川越市、越谷市に集団接種会場を開設します。熊谷市は「熊谷文化創造館さくらめいと」が会場となります。

現在、稼働している県高齢者ワクチン接種センター（県浦和合同庁舎）は8月以降、64歳以下向けの集団接種を行い、4会場ですべて3千人を超える接種を目指す予定です。

- 熊谷会場開設時期：
8月16日（予定）
- 使用予定ワクチン：
ファイザー社製

※7月20日現在の県の資料等を元に掲載しています。なお、ワクチンの供給状況や会場の状況により、接種人数が調整される場合があります。



集団接種会場運営費

（補正予算【第7号】）**32億8,388万1千円**

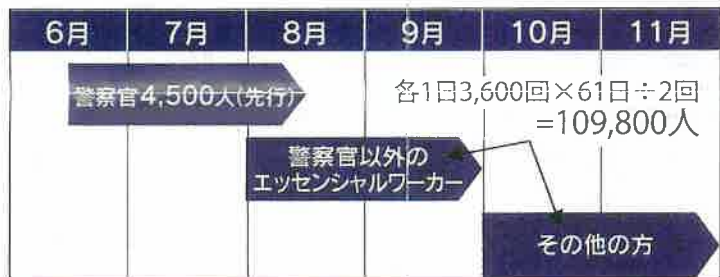
●熊谷市の接種会場＝熊谷文化創造館さくらめいと

人口バランスを考慮の上、埼玉県では県内4箇所に、新型コロナワクチンの集団接種会場が設置されました。

熊谷市は、熊谷文化創造館さくらめいとが接種会場となります。



●集団接種の期間と接種進行予想



▲経済・雇用対策特別委員長として定例会最終日(7月2日)、本会議場において委員会報告を行いました。

高齢者の暮らしを支えるサービス登録制度

高齢者の暮らしを支えるサービス（配送、移動販売、見守り、割引、訪問サービスなど）を実施している店舗・事業者等の情報を県の専用サイトで公開することにより、高齢者の利用を促し、高齢者の生活支援、介護予防を推進する取り組みがスタートしました。

「プラチナ・サポート・ショップ」

課題

- ・高齢者の増加・生活支援ニーズの多様化
- ・社会とのつながりの喪失はフレイル(虚弱)の入り口

対応

医療や介護保険サービスのみならず、民間事業者等と連携し、多様な主体による生活サポート体制の整備が必要

新たな取り組み 全国初

プラチナ・サポート・ショップ
(5月18日スタート)

高齢者の暮らしを支えるサービス(配送、移動販売、見守り、割引、訪問サービスなど)を実施している店舗等を登録し、情報を専用サイトで公開することにより、高齢者の利用を促し、高齢者の生活支援、介護予防を推進する取り組み

具体的な仕組み

- 事業者の募集 (R2.8～)
- プラチナ・サポート・ショップの開始
専用サイトでは、
・サービス内容の紹介
・マップ機能、多様な検索機能
- 情報提供先
◎高齢者、家族(ケアラー)
◎ケアマネジャーなど

臨時議会を重ねコロナ対策を推進してまいりました

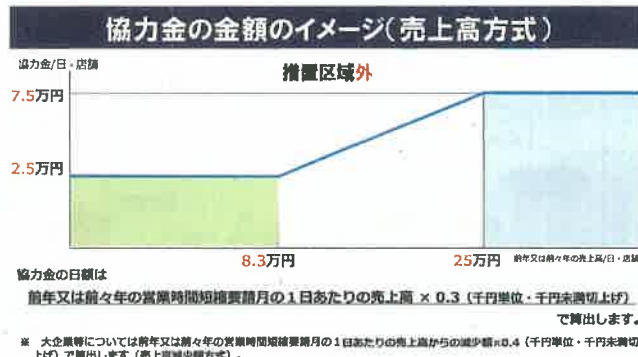
県議会は4月から7月までの間に6回の臨時議会を開催し、新型コロナ対策の補正予算などを議決してまいりました。

- 4月臨時会(4月19日)** 補正予算【第2号】 **385億5,340万9千円**
まん延防止等重点措置の適用に伴い、飲食店等の事業者に対する感染防止対策協力金(第9期)の給付を決定。
- 4月臨時会(4月27日)** 補正予算【第3号】 **24億6,903万1千円**
まん延防止等重点措置区域の追加に伴い、同区域内の飲食店等の事業者に対する感染防止対策協力金(第9期)等の給付を決定。
- 5月臨時会(5月11日)** 補正予算【第4号】 **272億332万7千円**
飲食店及び大規模施設等に対する営業時間短縮等の要請に伴う協力金(第10期)の給付、及びワクチン接種体制の強化を図るための予算措置を決定。
- 5月臨時会(5月31日)** 補正予算【第5号】 **509億2,571万3千円**
まん延防止等重点措置期間の延長に伴い、飲食店等の事業者に対する協力金(第11期)の給付と病床・宿泊療養施設の更なる確保のための予算措置を決定。
- 7月臨時会(7月9日)** 補正予算【第8号】 **683億6,781万5千円**

まん延防止等重点措置期間が延長されることに伴い、飲食店等の事業者に対する協力金(第13期)の給付及び酒類販売事業者等への協力支援金を拡充するための予算措置を決定。

措置区域外	
1日当たりの売上高	協力金の日額
8.3万円以下	2.5万円
8.3万円以上 25万円以下	2.5万円から7.5万円 (売上高(※)×0.3)
25万円以上	7.5万円

※ 売上高は前年又は前々年の1日当たりの額
※ 売上高減少方式(大企業等)の場合は、1日当たりの売上高からの減少額×0.4(千円単位・千円未満切上げ)で算出





小川 しんいちろう

県民が主役の政治 ー深谷市・寄居町・美里町ー

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL・FAX 048-583-6838 ✉spa783z9@wind.ocn.ne.jp

県議会9月定例会報告

医療体制の確保と経済対策
大規模補正予算【第10号】

1,271億6,885万円

段階的緩和措置に伴う
補正予算【第11号】

244億6,608万5千円

検査・医療体制、自宅・宿泊療養体制を 年度末まで確保強化へ

県議会は9月24日から10月14日にかけて9月定例会が開催され、一般会計補正予算【第10号】1,271億6,885万円、及び緊急事態宣言解除後の段階的緩和措置に伴う補正予算【第11号】244億6,608万5千円の計上などを議決しました。

補正予算【第10号】の主な内容は、国の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の10月以降の実施方針」を受け、来年3月末までの検査・医療提供体制や自宅・宿泊療養体制などを確保・強化する経費として1,219億8,623万7千円が計上されました。また県内経済活動の回復とポストコロナ社会への対応として、DX推進支援ネットワークを通じたデジタル導入企業への支援や、事業再構築支援センター（仮称）の設置費用などで7,091万2千円、公共事業の追加として51億1,170万1千円が盛り込まれました。

補正予算【第11号】は、10月1日から24日までの段階的緩和措置の実施に伴うもので、飲食店等への時短要請に対する協力金（第15期）の支給などが盛り込まれています。



▲埼玉県議会剣道部にて自民党議員団の重鎮 小谷野五雄議員(日高市)と一緒に(9月17日撮影)。

エスカレーターは止まって利用!

安全利用条例が施行されました

今年の2月定例会で私たちが提案し成立しました「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が10月1日に施行されました。

県は主要駅で街頭キャンペーンを行うとともに、ポスターやPRシール、アナウンス音声データを作成して管理者へ提供し、エスカレーターを利用する全ての方々に安全利用を呼びかけています。



DX推進支援ネットワークを通じたデジタル導入企業の支援

971万1千円

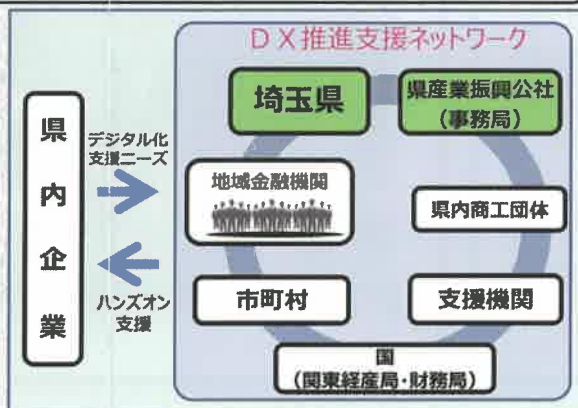
県内企業のデジタル実装を加速するため、国、県、市町村、経済団体や企業経営者との豊富なネットワークを有する地域金融機関、支援機関が相互に連携した支援体制を構築。

1 支援ネットワークの構築

国、県、市町村、経済団体、地域金融機関、県内支援機関のネットワークを形成し、デジタル化等の推進に係る情報共有を行う。

2 ウェブサイトの構築

企業のニーズを捉えて、より充実した各支援機関の先進事例集や専門家情報などの各種支援策を集約し、ワンストップウェブサイトを構築する。



委員会報告(県議会9月定例会)



経済・雇用対策特別委員会

中小企業の振興について審査

私が委員長を務める経済・雇用対策特別委員会は「中小企業の振興について」審査を行いました。

議員から「県内企業の後継者不在率が改善しているのは、どのような施策が影響しているのか」との質問があり、これに対し「県では事業承継ネットワークを構築し、金融機関や士業団体、事業承継・引継ぎ支援センターなどに寄せられた相談を繋げていく取り組みを行うことで、事業承継の円滑化に努めている。また、後継者候補を集めてワークショップ形式で行う『事業承継塾』も開催している」との答弁がありました。

次に「商店街の『街』という概念は変化している。今後、路面に面している商店街だけでなく、やる気のあるグループやSNSを利用したバーチャルなモールも『街』として幅広く捉えていかなければこの先厳しいと考える。このような新たなビジネスの流れを、県はどのように考

えているのか」との質問に対し、県は「規約の整備を前提として商店街以外の商業者グループにも補助をしている実績はがあるので、そうした支援を増やしていきたい」との答弁がありました。



経済・雇用対策特別委員会の審査風景

環境農林委員会

米価下落に対する県の取り組みなど質疑

環境農林委員会は所管事務の調査として「小川町メガソーラー予定地の現状と今後の対応について」及び「米価下落に対する県の対策について」「種苗法改正による県内農家への影響について」の質疑が行われました。主な質問・答弁内容は以下の通りです。

小川町のメガソーラー予定地については、まず「環境アセスメントの過程において経済産業省が知事の意見を受け事業者に対して行う勧告には、事業を中止させる効力はないと認識している。事業の開始に必要な林地開発は許可されるのか」との質問が議員からあり、県は「林地開発について、計画区域内で事業を進めるのに必要な赤道の利用ができなければ事業を進めることができなくなる。そのため、一般的に小川町の赤道の利用についての同意が得られなければ、基本的に林地開発の許可はできないと考えている」との答弁がありました。

次に米価下落について議員から「本県は、外食産業などと連携した

取り組みが弱く、県民でさえ『彩のかがやき』や『彩のきずな』などのブランド米を知らないのが現状。需要拡大に向け、ブランド米のPRをどのように取り組んでいくのか」との質問が出され、県からは「『彩のきずな』はブランド名を前面に出し、県産米の取扱いがなかった量販店で増量キャンペーンを実施している。さらに、『彩のきずな』のPR動画やPRソングを作成し、量販店等の売り場で活用していただけるよう取り組んでいく」との答弁がありました。

種苗法改正に関しては「登録品種の自家増殖に係る対応方針の決定に当たっては、他の自治体を参考に、特別な場合を除き許諾手続や許諾料を不要にできないか」との質問があり、県からは「他の自治体の方針や国のガイドラインも参考にした上で、農業者や農業者団体などの意向を踏まえ、農業者の営農の支障とならないよう配慮し、現状から大きな変更がないよう対応していく」との答弁がありました。

環境農林委員(自民党議員団)

横瀬・小鹿野・秩父を視察

環境農林委員会に所属する自民党議員団メンバーで7月13日、横瀬町の県民の森、小鹿野町のみどりの村、秩父市の森林科学館の3か所を視察しました。

▶「県民の森」は森林に対する理解を深めるとともに、自然とのふれあいのなかで健康の増進を図るために整備された施設です。県民の森ホールではコンサートや草木染めなどの体験教室が随時行われています。



◀「森林科学館」は自然景観に恵まれた荒川上流の奥秩父、中津川の水源地域に位置します。森林及び林業の役割に関する理解を深め、林業の振興を図ることを目的として整備されました。敷地全体は「彩の国ふれあいの森」として中津川県有林(約3,000ha)が整備され、「森林科学館」のほかに「宿泊施設こまどり荘」がありキャンプなども楽しめます。

視察

柔道の新井選手が表敬訪問

オリ・パラ応援議員連盟でお祝い

東京2020オリンピック競技大会(柔道競技)で大活躍された新井千鶴選手が9月8日、県議会を表敬訪問されました。新井選手は柔道女子70kg級で金メダルを、男女混合団体で銀メダルを獲得されています。

県議会からは木下高志議長(当時)、「県議会東京オリンピック・パラリンピック応援議員連盟」会長の



小谷野五雄議員、同幹事の神尾高善議員、同会員の千葉達也議員らとお祝いの言葉を贈るとともに、記念品を贈呈しました。



訪問



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 田村琢実 高橋政雄 神尾高善 諸井真英 木下高志 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井 明 宇田川幸夫 松澤 正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井 弘 渡辺 大 千葉達也 山口京子 逢澤圭一郎 高橋稔裕 阿左美健司 杉田しげみ(以上49名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様にかかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス対策に奔走した一年でありました。本県に於いても新型コロナウイルス感染者が一月二日に確認され、以後感染症対策に追われ、県議会に於いても、補正予算を令和三年度だけでも十三度審議すること、県民のコロナ禍に於ける生活の安心に繋げて参りました。また、コロナ対策に於ける県の執行体制の検証等を行って参りました。

この他にも、県議会にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例」が十月に施行されました。この条例は、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与すること

この他にも、県議会にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例」が十月に施行されました。この条例は、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与すること

この他にも、県議会にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例」が十月に施行されました。この条例は、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与すること

この他にも、県議会にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例」が十月に施行されました。この条例は、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与すること

を目的とし、全国初で制定施行致しました。全国的に注目を頂いている条例であり、県民の皆様のご理解とご協力にてエスカレーターの安全利用が促進されることを期待しています。

『埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例』が施行されました!

「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が、令和三年二月定例会にて自民党県議団の提案により上程され、賛成多数で可決成立致しました。この条例は、エスカレーターの安全な利用の促進に関し、県、県民及び関係事業者の責務を明らかにするとともに、エスカレーターの利用及び管理に必要事項を定めることにより、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的としています。



この条例では、利用者の義務として「立ち止まってエスカレーターを利用しなくてはならない」と義務規定を設けました。罰則規定はありませんが、今後の利用状況を鑑み改正を検討することを附則に盛り込んでいます。

県民の皆様のご協力をお願いします。

全国初!! 条例化
埼玉県から始めよう
埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例
令和3年10月1日から施行

健全な動物共生社会を目指し!

『埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例』

改正条例を自民党県議団が提案・成立!

埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例は、県民の動物愛護の精神の高揚を図り、動物の健康及びその安全を保持するとともに、動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害を防止することを目的とした条例であります。本県では、この条例に基づき、動物の愛護及び管理に関する施策を実施してきたところで、今回、この条例を改正し、動物の愛護及び管理に関する取組全体を強化致します。

条例改正のポイントの1点目は、「犬・猫の殺処分数の削減」です。このため条例に「飼い主にならうとする者の責務」を新たに規定し、飼い主になる前に動物の習性などの知識習得に努め、自身の現在と将来にわたる生活環境などを考慮してその動物がその生命を終えるまで飼うことができるか、しっかりと考える責務を規定しました。また、適正に飼養できると認められる者に対する譲渡推進の姿勢をより強く示すため、県が譲渡できるとしている犬猫に、所有者不明で収容した犬猫などを明記いたします。2点目は、動物取扱業者の更なる適正化です。「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、令和3年6月1日から動物取扱業者に関する遵守基準が具体化されたところであります。本県としても動物取扱業者の更なる適正化に取り組みが必要であります。今回の条例改正では、「動物取扱業者の責務」を新たに規定し、遵守基準を始めとする法令順守は基本として、最新の動物の知識の習得と情報の発信を主体的に取り組み責務を規定しました。また、県の責務に連携規定を追加して、市町村や動物関係団体等と連携することや、動物愛護推進員の活動を新設して、県に対して情報提供をすることも規定いたしました。



条例改正案を検討する政務調査会の様子



本条例により、犬猫の殺処分数の削減や動物取扱業者の適正化、更には動物の愛護及び管理に関する取組全体の強化を図られるものと考えております。

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和四年度予算編成に関する

「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和四年度政策大綱(合計384項目)」及び「令和四年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望195項目・議員要望46項目)」を大野知事に提出し、令和四年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和四年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだDXをはじめとする新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり等が不可欠であり、対応した予算を求めました。知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、ポストコロナに向けた検討をさせて頂きたいと前向きな返答がありました。

建設業関連の課題検討PT



建設業関連の課題検討プロジェクト・チームでの審議の様子

自民党県議団では、県内建設業関連の課題を把握し、改善に努める為に「建設業関連の課題検討プロジェクト・チーム」を設置し、取り組みを行っています。

この度、県内の建設事業者に対して行ったアンケートの結果、発注者の県と受注者たる事業者の関係において、一方的で対等とは言えない現状が判明しました。また、最低制限価格の引き上げや発注の平準化などのご意見を賜りました。

このアンケート調査の結果を施策に反映するために、大野知事に対し改善を求めた要望を行いました。大野知事からは、契約書の順守の徹底を図ると回答がありました。また、更なる平準化とともに、最低制限価格の引き上げが実施されました。

県政のこと、身近なこと等、何でもご相談下さい!



県政刷新! 改革を前へ!
埼玉県議会議員
神尾たかよし

自民党県議団県政調査事務所
埼玉県深谷市針ヶ谷 399-1
電話: 048-585-3929
FAX: 048-585-5149
<https://kamiotakayoshi.com/>



若いチカラで県北創生!
埼玉県議会議員
小川しんいちろう

自民党県議団県政調査事務所
埼玉県深谷市長在家 14
電話/FAX: 048-583-6838
E-mail: spa783z9@wind.ocn.ne.jp
<http://www.ogawa-shinichiro.com/>



小川 真一郎

県民が主役の政治 ー深谷市・寄居町・美里町ー

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL・FAX 048-583-6838 ✉spa783z9@wind.ocn.ne.jp



皆さまの負託に応えるため、全力で働いてまいります。

皆さまには、お健やかに新しい年をお迎えになりましたことと心よりお慶び申し上げます。

本年も県政と地域を繋ぐ架け橋として全力で働く所存です。皆さまのさらなるご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

埼玉県議会議員 小川 真一郎

県議会12月定例会

補正予算【第12号】【第13号】を議決

ポストコロナ見据えた経済対策&無料PCR・抗原検査実施へ

県議会12月定例会は12月2日に開会し、補正予算【第12号】一般会計36億1,663万円及び補正予算【第13号】一般会計383億1,641万8千円等を議決し12月22日に閉会しました。(補正後累計：2兆6,375億5,877万6千円)

補正予算【第12号】の主な内容は、経営環境の変化に対応して事業の再構築に取り組む中小企業やキャッシュレス決済の導入に取り組む商店街への支援策など、ポストコロナ・ウィズコロナを見据え

た経済活性化を重視した予算となっています。

補正予算【第13号】は、健康上の理由等でワクチン接種を受けられない無症状の方に加え、感染拡大傾向が見られる場合には、新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項等に基づき知事が受検要請を行い、これに応じた感染に不安を感じる無症状の方などの検査を無料化するための予算をはじめ、観光関連事業者への支援策などが盛り込まれています。

補正予算(第12号)の主な内容

一般会計 36億1,663万円

- 新しい生活様式を見据えた社会経済活動の活性化に向けた支援 **7億522万3千円**
- 介護施設等における新型コロナウイルス感染症対策の継続 **28億2,699万4千円**
- 公共事業等の施工時期の平準化・適正工期の確保
 - 債務負担行為の設定 限度額:111億5,862万4千円
 - 繰越明許費の設定 98億5,266万1千円

補正予算(第13号)の主な内容

一般会計 383億1,641万8千円

- 「ワクチン・検査パッケージ」等のため必要な無料PCR検査・抗原定性検査の実施 **298億4,091万5千円**
- 社会経済活動の再開に向けた支援 (宿泊割引等の観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援) **31億4,065万7千円**
- 生活に困っている人々への支援 (社会福祉資金特例貸付の受付期間を年度末まで延長) **53億3,484万6千円**

(補正後累計 2兆6,375億5,877万6千円)

埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例

私たちが条例改正を提案し成立

私たち自民党県議団は12月定例会において「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例」の改正案を提案し成立しました。



埼玉県の犬猫の殺処分数は減少しているものの、殺処分0の目標を達成するには、より一層の取り組みの強化が必要です。また、動物取扱業者のさらなる適正化に取り組む必要もあります。

改正された県動物愛護条例では、飼い主になる者や動物取扱業者の責務を規定するとともに、動物愛護推進員の活動を創設することにより、動物愛護に関する取り組みを強化することなどが定められています。

一日も早い完成に向け全力 期成同盟会の皆さまと一緒に取り組んでまいります

要望

県道広木折原線整備促進期成同盟会



県道広木折原線整備促進期成同盟会は11月16日、県に県道広木折原線の拡幅改良事業の一日も早い完成を求める要望書を提出しました。

◀地元住民の切なる願いを説明させていただきました。



▲美里町側では山を削り道路を拡幅する工事が本格化しています。



県道花園本庄線改良促進期成同盟会

県道花園本庄線改良促進期成同盟会は11月1日、県道花園本庄線の早期整備完成を求める要望書を県に提出しました。



▶要望の主旨を、地元選出県議として説明させていただきました。



▲本庄市との市境、小山川を渡る橋の建設が急ピッチで進められています。



県議会ラグビー振興議員連盟

熊谷「さくらオーバルフォート」を視察

視察

県議会ラグビー振興議員連盟は11月24日、埼玉パナソニックワイルドナイツの新本拠地「さくらオーバルフォート」を視察してきました。



「さくらオーバルフォート」は「ラグビーワールドカップ2019」の会場となった熊谷ラグビー場に隣接したラグビー熊谷スポーツ文化公園内に設置され、管理棟、屋内運動場、グラウンド、宿泊棟などが整備されています。それぞれの事業者が新たな価値の創出を念頭に意欲的な活動を展開することで生まれる、「スポーツをする、観る」「泊まる」「食べる」「買う」「集う」「学ぶ」「創造する」等々の魅力的な機能を生かして、このエリアを活気と賑わいにあふれ、世界に発信できるラグビーパークとなることを目指しています。

県議会英霊にこたえる議員連盟

靖國神社を視察・参拝

県議会英霊にこたえる議員連盟で11月29日、靖國神社を視察・参拝しました。

国の礎となって散華された英霊の皆様に、感謝と哀悼の誠を捧げて参りました。



防犯街頭キャンペーンに参加

県防犯のまちづくり推進条例で定めている「減らそう犯罪の日」に合わせ、埼玉県議会防犯のまちづくり推進議員連盟として10月12日、JR浦和駅前街頭キャンペーンを行いました。大野元裕知事も参加し、通行人に自転車の施錠の徹底や、特殊詐欺への警戒など身近な防犯対策を呼びかけました。



性暴力等犯罪被害専用相談電話「アイリスホットライン」

ひとりで悩んでいませんか？私たちがあなたの気持ちに寄り添いながら一緒に考えます。



アイリスホットライン（性暴力等犯罪被害専用相談電話）
電話番号:0120-31-8341 (彩の国 やさしい)





小川 新一

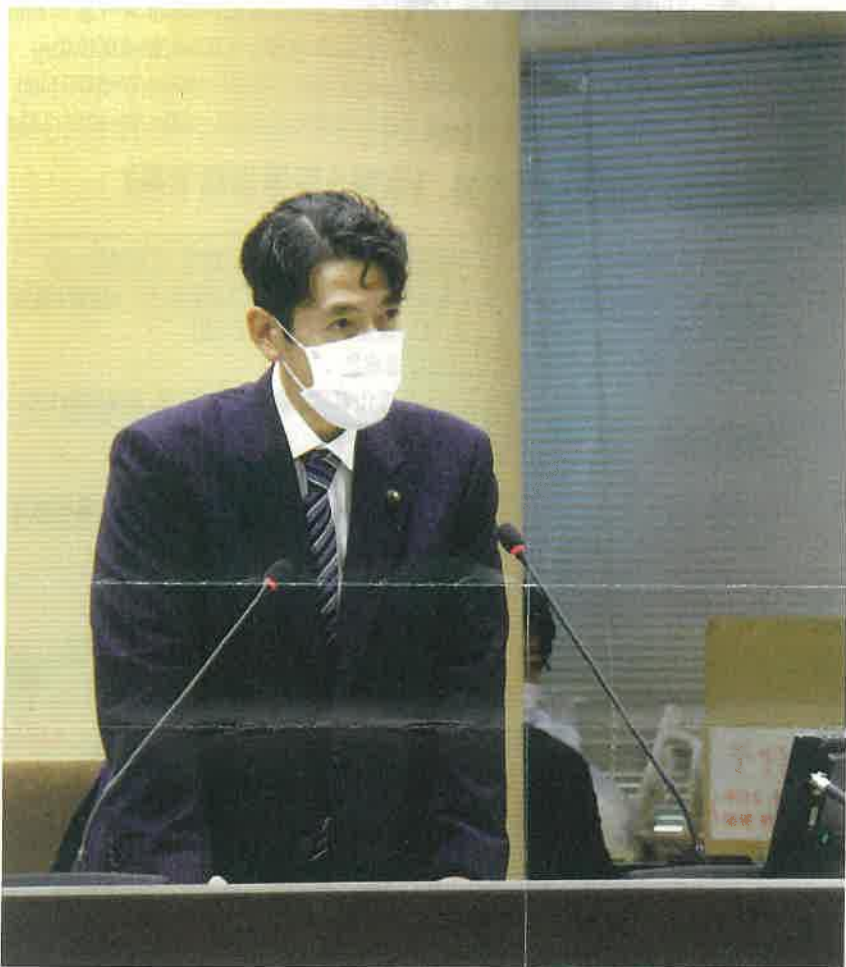
県民が主役の政治 ー深谷市・寄居町・美里町ー

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL・FAX 048-583-6838 ✉spa783z9@wind.ocn.ne.jp

県議会2月定例会報告

県政史上最大規模 《一般会計当初予算》 2兆2,284億5,900万円を議決

直面する危機からの脱却と日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現へ



県議会2月定例会では予算特別委員会委員として部局別質問を行いました。

県議会2月定例会は2月17日に開会し、過去最大となる一般会計当初予算2兆2,284億5,900万円等を議決し、3月25日に閉会しました。

「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」の2つを柱に掲げた当初予算は、最も重要な課題として新型コロナ対策として約1,845.5億円が計上され、ワクチン接種医療機関への支援をはじめ高齢者施設などのクラスター対策の強化などが盛り込まれました。またウィズコロナの下、その有用性が高まっているデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進についても、県庁のDX化を進めるために約31.8億円、中小企業のDX化支援に約1.8億円、キャッシュレス決済の導入を進める商店街支援に約1.4億円などが計上されました。

新型コロナ感染症の長期化にともない県の財政は厳しい状況が続きますが、県民の安心・安全の確保を最優先に、人々の生活と健康、地域経済を守るために全力で取り組んでいく所存です。

令和4年度当初予算

全会計合計（一般会計・特別会計・公営企業会計） ※県の予算の詳細については↓

3兆6,455億5,320.1万円
(前年度比 4.1%増)



一般会計 **2兆2,284億5,900万円**
(前年度比 5.1%増)

県が管轄する道路・河川等の整備、そのほか教育・福祉・警察など、県が行う事業の会計です。

特別会計 **1兆2,325億5,940.1万円**
(前年度比 2.8%増)

特定の収入を特定の支出に充てるために、一般会計と区別している事業の会計です。
※公債費特別会計/国民健康保険事業特別会計/公営競技事業特別会計 他

公営企業会計 **1,845億3,480万円**
(前年度比 0.2%増)

地方公共団体が行う事業のうち「企業」と観念される事業の会計です。 ※水道事業/下水道事業/病院事業

引きこもり自立支援条例を提案・制定

私たち自民党県議団は2月定例会において「引きこもり自立支援条例」を提案し、制定しました。

引きこもり状態にある方は、自身の将来をはじめとする様々な不安を抱えており、これはその家族も同様です。しかしながら、身近に支援を受けることのできる場所がなく孤立しているケースも多く見受けられます。引きこもりの支援は、本人の意思を無視してはいけません。そして、本人及びその家族が孤立することのないよう、身近に安心して支援を受けることのできる環境を整備することが必要だと私たちは考えています。



予算確保!

令和4年度 深谷市・寄居町・美里町の主なインフラ事業

令和4年度、地元の深谷市・寄居町・美里町において予算を確保することができました主なインフラ事業です。

■国土整備部 《令和4年度当初予算》

路線名等	事業概要
1 上武大橋(伊勢崎深谷線)	橋りょう架換(L=1,620m、W=6.5(11.0)m)
2 針ヶ谷岡線(山河)	自転車歩行者道整備(L=740m、W=6.0(12.0)m)
3 深谷寄居線(西島)	自転車歩行者道整備(L=75m、W=6.0(12.0)m)
4 熊谷寄居線(本田)	自転車歩行者道整備(L=85m、W=6.0(12.0)m)
5 深谷嵐山線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,080m、W=6.0(14.0)m)
6 花園本庄線(武蔵野)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=3,300m、W=6.5(15.0)m)
7 針ヶ谷岡線(山河)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=740m、W=6.0(12.0)m)
8 深谷嵐山線	道路改築(L=1,080m、W=6.0(14.0)m)
9 本庄妻沼線	道路改築(L=850m、W=6.0(14.5)m)
10 熊谷寄居線	道路改築(L=200m、W=6.0(12.0)m)
11 花園本庄線(榛沢通り)	道路改築(L=2,560m、W=6.5(15.0)m)
12 下北原陸橋(国道140号)	橋りょう修繕(ひび割れ補修)
13 川本陸橋(国道140号)	橋りょう修繕(ひび割れ補修)
14 植松橋(深谷嵐山線)	橋りょう修繕(補修設計)
15 共栄橋(伊勢崎深谷線)	橋りょう修繕(補修設計)
16 深谷中央陸橋(深谷嵐山線)	橋りょう修繕(断面修復)
17 桜ヶ丘歩道橋(深谷嵐山線)	橋りょう修繕(塗装塗替)
18 黒田歩道橋(国道140号)	橋りょう修繕(塗装塗替)
19 岡中央陸橋(針ヶ谷岡線)	橋りょう修繕(橋脚補強、落橋防止)
20 国道140号	道路環境整備(側溝撤去新設(L=100m))
21 熊谷児玉線(岡部)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=900m))
22 本田小川線(本田)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=700m))
23 中瀬普濟寺線(普濟寺)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=1,200m))
24 深谷寄居線(武蔵野)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=900m))
25 国道140号(長在家)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.6m、L=500m))
26 弁財深谷線(原郷)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=400m))
27 藤治川	河川改修(設計)
28 荒川	河川改修(測量設計)
29 清水川排水機場(清水川)	社会資本整備総合交付金(河川)事業 (ポンプ設備整備工、点検)
30 清水川外	排水機場等維持修繕 (ポンプ設備整備工、保守点検)
31 唐沢川	河川改修(河川管理施設修繕)
32 清水川	河川改修(河川管理施設修繕)
33 国道140号(末野)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,270m、W=13.0(25.0)m)
34 赤浜小川線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,400m、W=6.5(13.0)m)
35 坂本寄居線(鉢形)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=270m、W=7.6(10.0)m)
36 国道254号(露梨子)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=20m、W=6.5(9.0)m)
37 広木折原線	道路改築(L=2,000m、W=6.0(10.0)m)
38 国道140号(末野)	道路改築(L=2,270m、W=13.0(25.0)m)
39 赤浜小川線	道路改築(L=1,400m、W=6.5(13.0)m)
40 飯能寄居線(寄居)	バリアフリー安全対策(波打ち改善(W=15m、L=350m))
41 鉢形陸橋(国道254号)	橋りょう修繕(ひび割れ補修)
42 堀之内歩道橋(国道140号)	橋りょう修繕(塗装塗替)
43 坂本寄居線(秋山地区)	災害防除(モルタル吹付工(W=7.8m、L=40m))
44 小前田児玉線(用土)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=500m))
45 藤治川	砂防維持修繕(雑草繁茂対策工、測量設計)
46 宮川	砂防施設(溪流保全工)
47 少林寺川	砂防施設(溪流保全工、用地買収、物件補償)
48 関山川	砂防施設(溪流保全工)
49 荒川	川の再生推進(河川管理施設修繕)
50 荒川(寄居)	河川改修(河川管理施設修繕)
51 荒川(桜沢)	河川改修(河川管理施設修繕)
52 本庄寄居線(甘粕)	交通安全施設整備事業(L=10m、W=7.0(12.0)m)
53 広木折原線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,000(720)m、W=6.0(10.0)m)
54 新上宿橋(熊谷児玉線)	橋りょう修繕(落橋防止)
55 本庄寄居線(阿那志)	舗装道整備(舗装修繕(W=8.99m、L=150m))
56 本庄寄居線(猪俣)	舗装道整備(舗装修繕(W=7.1m、L=150m))
57 熊谷児玉線(阿那志)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=400m))
58 児玉町蛭川普濟寺線(小茂田)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=300m))
59 粉木川	砂防維持修繕(護岸修繕工)
60 志戸川(関その2)	河川改修(河川管理施設修繕)



本会議にて委員長報告に立つ



予算特別委員会にて



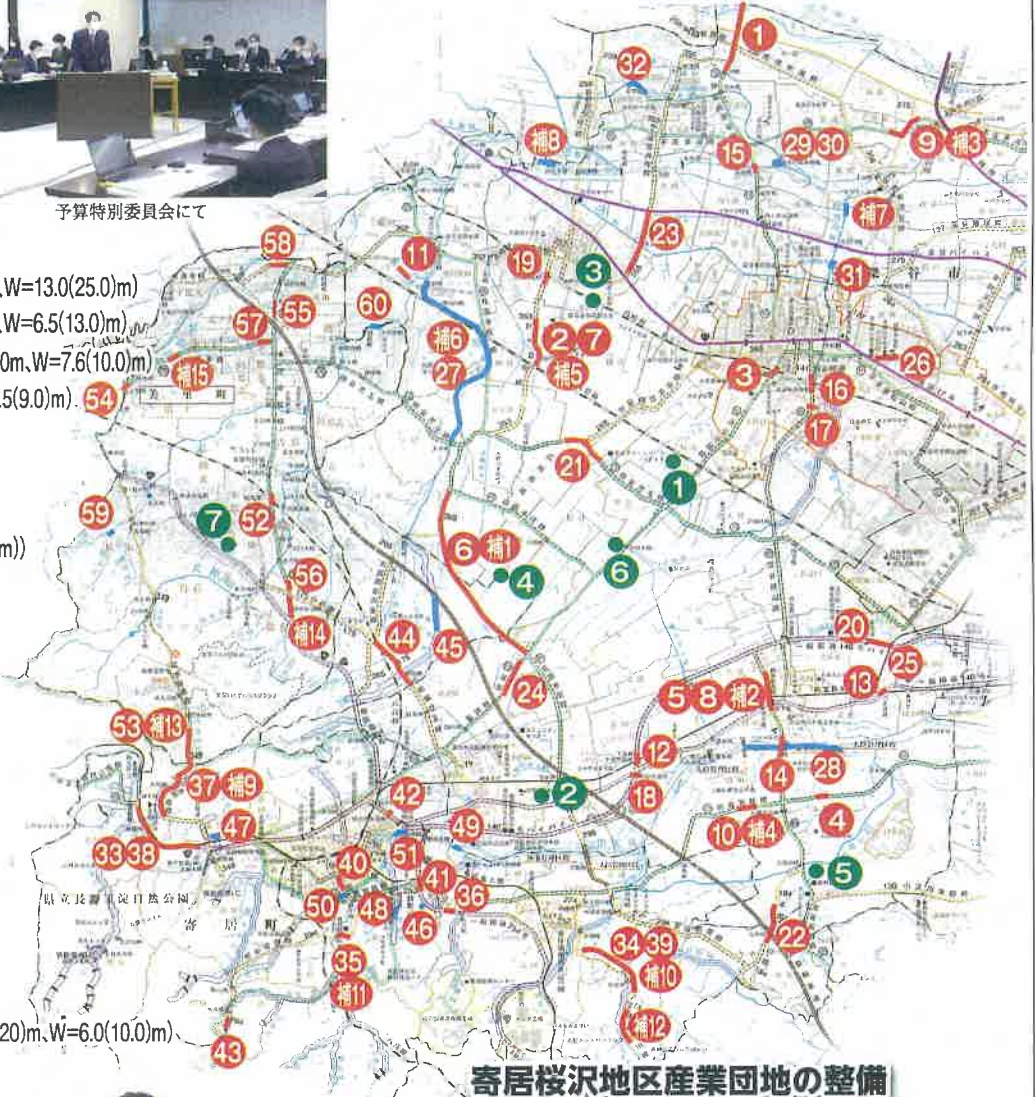
委員長として委員会審議を進行

■国土整備部 《令和3年度2月補正予算(国の補正対応分)》

路線名等	事業概要
補1 花園本庄線(武蔵野)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=3,300m、W=6.5(15.0)m)
補2 深谷嵐山線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,080m、W=6.0(14.0)m)
補3 本庄妻沼線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=850m、W=6.0(14.5)m)
補4 熊谷寄居線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=200m、W=6.0(12.0)m)
補5 針ヶ谷岡線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=740m、W=6.0(12.0)m)
補6 藤治川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(測量設計)
補7 唐沢川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(設計、護岸工)
補8 小山川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(河道掘削)
補9 広木折原線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,000m、W=6.0(10.0)m)
補10 赤浜小川線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,400m、W=6.5(13.0)m)
補11 坂本寄居線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=270m、W=7.6(10.0)m)
補12 赤浜小川線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=390m、W=7.8(12.5)m)
補13 広木折原線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,000m、W=6.0(10.0)m)
補14 本庄寄居線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=500m、W=6.0(9.5)m)
補15 熊谷児玉線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=100m、W=10.0(12.5)m)

■農業基盤整備事業 《令和4年度当初予算》

路線名等	事業概要
1 荒川中部左幹線(堰か)かんがい排水事業(一般型)(ゲート更新1箇所、実施設計1式)	
2 荒川中部右幹線(荒川か)かんがい排水事業(一般型)(目地補修工2箇所、ゲート更新1箇所)	
3 北武蔵(岡部)	農道整備事業(農道保全)(橋梁補修工1式)
4 荒川中部(櫛引)	団体営基盤整備促進事業 (水利施設等保全高度化事業)(遊歩道整備1式、測量設計1式)
5 芳沼(本田)	団体営基盤整備促進事業 (農業水利施設安全対策)(安全柵設置(L=0.3km))
6 大谷(大谷)	彩の国ゆたかなむらづくり整備事業(処理施設改修1式(機能強化))
7 新田池(中里)	団体営基盤整備促進事業(ため池整備(耐震・豪雨)) (堤体改修1式、洪水吐改修1式)



寄居桜沢地区産業団地の整備

地域に貢献できる産業団地として寄居桜沢産業団地の整備が、令和4年度完成の予定で進められています。
令和4年度予算:1億5,205万円
(総事業費(継続費):約22億円)



完成イメージ

深谷・美里・寄居

かみお

県北の力 神尾たかよし NEWS

4月臨時議会 (令和3年4月1日)

埼玉県立病院機構の

臨時議会で 中期計画を可決！

埼玉県の医師不足解消へ！

新たに医師45人を確保します。

4月1日の臨時議会は、私たち自由民主党議員団が主張してきた埼玉県立4病院の独立行政法人化に伴い、設立した県立病院機構の中期計画の認可について審議され、全会一致で可決されました。

県立病院機構は、循環器・呼吸器病センター（熊谷市）、がんセンター（伊奈町）、小児医療センター（さいたま市）、精神医療センター（伊奈町）の4病院で、高度な専門医療を扱う『専門病院』として位置づけられています。

県立病院を独立行政法人化した大きな理由は、県内で慢性化している医師不足の解消と経営の改善を図ることです。職員は公務員でなくな

ることで、給与体系を含む地方公務員法の縛りがとれ、報酬の底上げができ、優秀な人材の確保が期待できます。

中期計画では、4病院で医師を45人増員し、経営面においても今後5年間で赤字体質から脱却し、**黒字化を図る**としています。また、患者の遺伝子情報に基づき、各人にとって最適な治療法を提供する「がんゲノム医療」の推進や、地域医療機関との連携強化を図ることで、患者の満足度向上を目指します。

埼玉県の医療水準を向上させ、誰もが安全で安心な医療を享受し、健康確保ができますよう全力で働きかけてまいります。



地方独立行政法人埼玉県立病院機構中期計画素案（骨子）一部抜粋

県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

■ 高度専門・政策医療の持続的提供と地域医療への貢献

・ 病院機能に応じた質の高い医療の提供、新たな医療課題への対応、地域医療機関との連携

・ **循環器・呼吸器病センター** 循環器・呼吸器系疾患の高度専門医療、SSN基幹病院としての脳卒中患者の受入れ、第二種感染症指定医療機関としての医療等)

・ **がんセンター** 都道府県がん診療連携拠点病院としてのがん医療、ロボット支援下手術の導入、がんゲノム医療の推進、臨床腫瘍研究所における専門研究等)

・ **小児医療センター** 小児専門病院としての高度専門医療、周産期医療の充実、小児三次救急の提供、がんゲノム医療・CAR-T細胞療法の実施等)

・ **精神医療センター** 依存症・児童思春期精神疾患・医療観察法指定医療機関としての高度専門医療、精神保健福祉センターとの一体的な運営等)

■ 患者の視点に立った医療の提供

患者等の満足度向上インフォームド・コンセントの推進、待ち時間の短縮。

入退院支援センターの活用、積極的な情報発信、医療の標準化と最適な医療の提供。

■ 安全で安心な医療の提供

医療安全対策の推進と適切な情報管理、感染症対策の強化、災害対策の推進。



地方独立行政法人埼玉県立病院機構 中期計画（素案）の概要

令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）

中期目標を達成するための取組

- 県の医療政策としての高度専門・政策医療の提供と地域医療への貢献
- 法人の優位性を活かした人材の確保と優れた組織づくりの推進
- 効率的な病院運営による財務内容の改善

県民の健康確保

県の医療水準向上

病院の経営基盤強化



高度専門・政策医療の提供

● 高度専門・政策医療の持続的提供

- がんゲノム医療・CAR-T細胞療法・小児生体肝移植医療等の提供

主な取組

がんゲノム医療



患者一人ひとりの遺伝子情報に基づく最適な治療法を提供

● 地域医療機関との連携

- 病院・診療所・薬局との連携強化

● 患者満足度の向上

- 患者に最適な医療の提供、入退院支援センターの積極的な活用

主な指標

入院患者満足度



R1 実績		R7 目標	
循呼	91.3%	循呼	92.5%
がん	89.0%	がん	90.0%
小児	93.4%	小児	95.0%
精神	75.3%	精神	80.0%

● 安全で安心な医療の提供

- 医療安全対策と院内感染対策の充実

人材の確保と組織づくり

● 優れた人材の確保・育成

- 医療人材の確保と定着、教育・研修の充実による人材育成

主な取組

教育・研修の充実



高度専門医療を担う医療人材の育成

● 働き方改革の推進

- I o T・A I 技術の活用による業務の効率化、職員の満足度向上

主な指標

職員満足度



R1 実績		R7 目標	
循呼	65.1点	循呼	70.0点
がん	61.7点	がん	66.0点
小児	63.2点	小児	70.0点
精神	72.3点	精神	75.0点

● 優れた経営体の構築

- 理事会を中心とした運営体制の構築、経営企画機能の強化

財務内容の改善

● 収入の確保・費用の削減

- 病床の効率的な運用や適正なレセプト作成、後発医薬品の導入

主な指標

病床利用率



R1 実績		R7 目標	
循呼	75.2%	循呼	81.0%
がん	76.6%	がん	82.2%
小児	81.4%	小児	83.5%
精神	82.9%	精神	84.5%

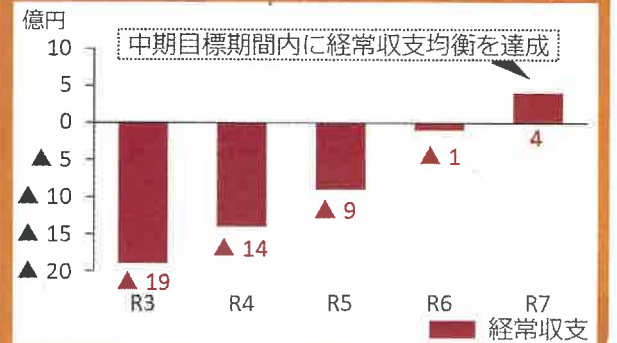
● 経営基盤の確立

- 中期目標期間内の経常収支均衡

主な指標

経常収支比率

R1 実績	R7 目標
98.2%	100%以上





深谷市 川本地区 荒川右岸環境整備 植松橋下流樹木伐採が継続事業として始まります。



【樹木伐採スケジュール】

- ～9月:設計書作成、公告
- 10月:工事契約、工事着手
- 3月:工事完成

工食用搬入路が限られるため、工区分けについては検討中です。

川本・本田地区の皆様からご要望をいただいている荒川植松橋下流右岸（本田地区）の河川敷内樹木の伐採除根工事が、令和2年度に引き続き行われることになりました。

樹木群は河川内の流水障害を引き起こし、洪水時に水位上昇の恐れとなります。倒れた樹木が流木となって下流の堰や橋梁に支障を招く恐れもあります。さらには不法投棄等を助長することにも繋がります。適正な河川管理の観点から、本年度も河川内の樹木伐採を実施いたします。

今後とも地域の皆様のご意見・ご要望をいただきながら荒川の環境整備事業を着実に進めてまいります。



伐採が予定される区域



【国事業名】農村地域防災減災事業 ため池総合整備工事(地震・豪雨対策型)(一般整備型)

芳沼 県営農地防災事業(ため池改修) ・芳沼用水土地改良区ほ場整備要望

参議院議員(全国比例) 全国土地改良政治連盟顧問 **進藤 金日子**議員に視察していただきました。

現場をしっかりと見させていただきました。
課題解決に向けて努力してまいります。
(進藤 金日子 参議院議員談)

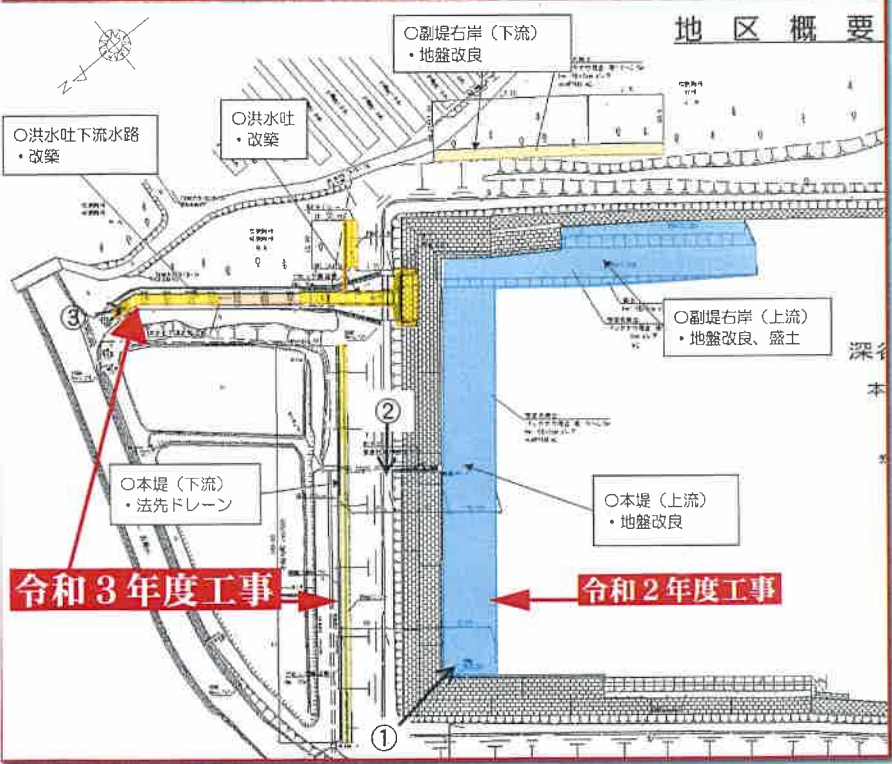
5月31日土地改良事業のエキスパートである、自由民主党参議院議員進藤金日子議員に、川本地区芳沼の現地視察にお越しいただきました。残念ながら私は県議会の臨時会出席のため参加できずお断りしていましたが、進藤議員には芳沼の農地防災事業(ため池改修)と芳沼用水土地改良区の現状を視察していただき、芳沼用水土地改良区からのほ場整備事業実施を要望させていただきました。



着々と進む
洪水吐下流水路改修工事



本年度で、老朽化した萱沼の長寿命化対策が完了いたします。
災害の未然防止や被害軽減が図れる事になります。



各地域でのお困りごと御要望をお寄せください
連絡先 深谷市針ヶ谷399-1 TEL 048-585-3929

Facebook (フェイスブック) で情報発信中!



令和3年
7月21日
85号

県政報告

埼玉県議会自由民主党議員団 総務会長
令和元年度 埼玉県議会議長 (第122代)
議会運営委員会 図書室委員会
令和3年度 ●常任委員会/福祉保険医療常任委員会
所属委員会 ●特別委員会/自然再生・循環社会対策特別委員会

県議会6月定例会 (6月14日～7月2日)

7月臨時会 (7月9日)

まん延防止等重点措置期間延長で 影響を受けた事業者の支援を拡充!

埼玉県議会6月定例会は、6月14日から7月2日まで開催され、一般会計補正予算【第6号】121億498万6千円及び【第7号議案】488億8,112万1千円などを議決しました。また、7月9日に開催された臨時会では、補正予算【第8号】683億6,781万5千円(補正後の累計は2兆3,878億7,062万2千円)を編成しました。

補正予算の主な内容は、【6号議案】で、新型コロナまん延防止重点措置などの影響を受けている事業者支援で、①外出自粛等の影響を受けている事業者、②酒類の提供自粛等の影響を受けて

いる酒類販売事業者、③宿泊事業者、④地域公共交通事業者、⑤県産品製造事業者への支援予算が計上されます。

また、【第7号議案】【8号議案】では、まん延防止等重点措置の延長により、感染防止対策協力金の支給期間延長をはじめ、高齢者へのワクチン接種を7月末までに完了するための新たな支援策や、生活困窮者を支援するための予算が盛り込まれています。

県民の皆様には、引き続き感染防止対策を徹底していただき、一日も早く、安全で安心な暮らしを取り戻していただけるよう、全力で働きかけてまいります。

深谷市・寄居町・美里町の皆さんには、以下のご協力をお願いします。

県民の皆様へのお願い

県境をまたぐ移動、特に、緊急事態措置区域との往来は、極力控えること。

不要不急の外出・移動の自粛

医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、通学、屋外での運動や散歩など生活や健康の維持のために必要な場合を除く

外出・移動の際は、可能な限りの新感染防止対策を講じた上、目的の場所以外に立ち寄らず、直行・直帰を徹底

お買い物、お出かけは『県内』『少人数』で!

飲食店に対する営業時間の短縮要請等について

◆飲食店(居酒屋含む)、喫茶店等、バー等遊興施設等に対して

要請期間: 令和3年8月22日(日)午後12時まで

営業時間: 午前5時から午後9時まで

その他: 長時間(90分超)の会食を避け、4人以下又は同居家族(介助者を含む)のみに限るよう働きかけること

◆酒類の提供について

酒類提供: 原則、提供自粛(飲酒の機会を設けないこと)ただし、以下の遵守を条件に、提供可能

・「彩の国『新しい生活様式』安心宣言飲食店+(プラス)」の認証を受けること
※特に、①アクリル板等の設置又は座席間隔の確保、②手指消毒の徹底、③マスク着用の推奨、④換気の徹底の基本4項目を遵守すること

提供時間: 午前11時から午後8時まで

人数上限: 4人以下又は同居家族(介助者含む)のみ

劇場、遊興施設、商業施設等への要請

営業時間: 午後9時まで

酒類提供: 原則、提供自粛(飲酒の機会を設けないこと)ただし、業種別ガイドライン、基本4項目等の遵守を条件に、提供可能
【措置区域】午後7時まで 【措置区域以外】午後8時まで

人数要件: ◆商業施設以外……………イベント等の開催制限と同じ

◆商業施設(床面積1,000㎡超)……………繁忙期の1/2程度の人数を目安

議員提出議案採決確認表 (意見書・決議・議員派遣)

(注) 原案可決に対し賛成は○、反対は×

件名	自民	県民	民主フォーラム	公明	共産党	改革	無所属/浅野三
北朝鮮による全ての拉致被害者等の即時一括帰国を求める意見書					全会一致で賛成		
警察官の増員を求める意見書					全会一致で賛成		
国産ワクチン・医療薬等の開発・生産についての早急な体制整備を求める意見書					全会一致で賛成		
医療従事者等への更なる支援を求める意見書					全会一致で賛成		
産後ケア事業の新たな取組の推進を求める意見書					全会一致で賛成		
カーボンニュートラル実現に向け、再生可能エネルギーの比率を高める次期エネルギー基本計画の策定を求める意見書					全会一致で賛成		
国産ワクチン・治療薬等の製造拠点の県内誘致を求める決議					全会一致で賛成		
件名	自民	県民	民主フォーラム	公明	共産党	改革	無所属/浅野三
選択的夫婦別姓制度の導入に向けた国会審議の推進を求める意見書	○	×	○	○	○	○	○
中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議等を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○
こども庁創設に関する意見書	○	○	○	○	×	○	○
新型コロナウイルス感染症対策の更なる強化を求める意見書	○	○	○	○	×	○	○
学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書	○	○	○	○	×	○	○
議員派遣の中止について (埼玉県・オハイオ州姉妹提携30周年親善訪問団)					全会一致で賛成		



皆様のご要望を確かな形に！



ご要望の
進捗状況を
ご報告します。
一部抜粋

各地域の皆様から寄せられたご意見・ご要望は、確かな実績と経験で、確実に関係機関へ対応を申し入れ、迅速に皆様のご希望にお応えできるよう努めています。多くの声を、神尾たかよしにお聞かせください。

深谷市

西島

県道深谷寄居線



地元地権者の方からの要望で、深谷駅西踏切周辺の自歩道整備も順調に推移しています。

柏合

県道深谷寄居線



県道深谷寄居線の自歩道整備が、地元からの要望により一部完了しました。

後榛沢

県道本庄花園線（社会資本整備）



花園本庄線の開通に先駆け「榛の森公園」南の橋が本年度中に完成し、一部供用が開始されます。

畠山

熊谷寄居線（社会資本整備）



狭い道路を改築し、誰もが安心安全で通行できる自転車歩行者道を整備します。

本田

荒川右岸環境整備
伐採が予定される区域



荒川植松橋下流右岸の、河川敷内樹木伐採除根工事が、令和2年度に引き続き行われます。

本郷

県道寄居岡部深谷線（舗装道整備）



地元の方から、本郷中部集会所前の舗装修繕のご要望をいただきました。大型車の通行時は、近隣の方々が夜も眠れないとの事で、いち早く解決させていただきました。

寄居町

秋山

県道坂本寄居線（自歩道整備）



誰もが安心・安全に通行できる自転車歩行者道を整備します。

牟礼

県道赤浜小川線（社会資本整備）



安全に通行できるバイパス道路の用地補償も、順調に推移しています。

桜沢

寄居桜沢地区産業団地（埼玉県企業局）



寄居町周辺の活性化と県土の均衡ある発展を図るため、早急な実現を目指します。

美里町

阿那志

県道本庄寄居線（自歩道整備）



狭く危険な道路の自転車歩行者道整備も、順調に推移しています。

広木

粉木川砂防維持修繕整備



樹木伐採工事を行い護岸の修繕をします。工期は12月で終了します。

猪俣

正円寺川砂防維持修繕整備



円正寺川の樹木伐採工事を行い護岸を修繕します。工期は12月で終了します。

各地域でのお困りごと、ご意見・ご要望をお寄せください。

連絡先 深谷市針ヶ谷399-1 TEL 048-585-3929



スマートフォンはこちらから

Facebook（フェイスブック）で情報発信中！



令和3年
9月28日
86号

県政報告

埼玉県議会自由民主党県政調査事務所 神尾たかよし事務所

埼玉県議会自由民主党議員団 総務会長

令和元年度 埼玉県議会議長 (第122代)

令和3年度
所属委員会

- 議会運営委員会
- 図書室委員会
- 常任委員会 / 福祉保険医療常任委員会
- 特別委員会 / 自然再生・循環社会対策特別委員会

8月臨時議会 (令和3年8月27日)

臨時議会で

新型コロナウイルス感染拡大防止等のための補正予算 561億2,017万1千円を可決!

補正後累計額 2兆4,439億9,079万3千円

■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

- ・ 飲食店等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給 355億7,491万7千円
- ・ 大規模施設等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給 27億3,093万7千円
- ・ 飲食店等への営業時間短縮要請等に係る現地調査 302万4千円
- ・ 若年層のワクチン接種促進に向けた広報 1,248万円

■ 感染拡大の影響を受けている事業者への支援

- ・ 外出自粛等により影響を受けている事業者への支援 51億5,517万5千円
- ・ 酒類の提供自粛等により特に大きな影響を受けている酒類販売事業者等への支援 6億7,480万5千円

■ 医療提供体制の強化

- ・ 緊急的に酸素投与を行う酸素ステーションの設置 41億223万2千円
- ・ 宿泊療養施設における酸素療法及び抗体カクテル療法の実施 10億3,758万8千円
- ・ 症例集の活用による後遺症に対応可能な医療機関の拡充 551万6千円

■ 生活に困っている人々への支援

- ・ 生活福祉資金特例貸付の受付期間延長に伴う助成 110億5,976万3千円

■ その他執行見込額との調整

- ・ 高齢者・障害者入所施設及び通所施設の職員等に対するPCR検査 △42億3,626万6千円

議員提出議案 第33号議案

『新型コロナウイルス感染症による感染爆発と医療ひっ迫打破のため、更なる対策強化を求める意見書』全会一致で可決!

国においては、下記の事項を早急を実施するよう強く要望する。

- 1、 地方自治体において臨時の新型コロナウイルス感染症専用医療施設を新規に整備する場合には、運営費も含めて必要な財政支援を図ること。
- 2、 都市封鎖（ロックダウン）も視野に入れた法整備に向けて取り組むこと。
- 3、 新型コロナウイルス感染症のまん延状況に対応した医療体制の構築を進められるよう、新規陽性者急増時における一般医療の制限を行う範囲等の指針について国が責任を持って明らかにするとともに、当該制限に伴い生ずる経営上の損失の補償についても国の責任において財源措置を行うことにより、実効性を高める法整備を進めること。
- 4、 抗原検査キットの無料配布等により、必要な人が必要な時に検査を受けられるよう検査体制の強化を図ること。
- 5、 国民・事業者に対する支援金制度の更なる拡充を図ること。
- 6、 ワクチン接種の対象外である12歳未満の子供を養育する親世代への早期接種を進めるなどの支援を図ること。
- 7、 休校等の措置により、児童虐待が潜在化、深刻化する事態を防ぐため、相談窓口の拡充に取り組む地方自治体や地域で子育て支援を行う団体等への支援を強化すること。
- 8、 感染拡大を食い止めるエビデンスに基づいた施策を実施するために、新型コロナウイルス感染症に関する感染力や重症化リスクなどの様々なデータの調査・分析を進めて、国民及び地方自治体へ迅速にフィードバックするとともに、地方自治体が行う施策に対して、人的・財政的支援を図ること。

議員提出議案 第34号議案

『県による新型コロナウイルス感染症専用医療施設の速やかな整備等を求める決議』全会一致で可決!

本県議会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により医療提供体制がひっ迫している厳しい状況において県民の命を守るため、県において下記の措置を講ずるよう強く求める。

- 1、 ホテル等の臨時医療施設化を早急を実施するとともに、速やかに新型コロナウイルス感染症対策専用医療施設の整備を検討すること。
- 2、 宿泊・自宅療養者支援センター等において実施している軽症の自宅療養者の健康観察業務については、県の責任において業務委託の適切な管理を行うこと。
- 3、 消毒作業等を実施する委託業者の拡大などにより、ホテル等宿泊療養施設の稼働率を高めること。

以上、決議する。

緊急事態宣言の延長について

政府が緊急非常事態宣言の期間を延長しました。そこで、次のとおり協力を要請します。

- ◆ 対象区域 埼玉県全域
- ◆ 実施期間 令和3年8月2日(月)から
令和3年9月30日(木)まで

もし、発熱したら・・・ 受診するまでの3ステップ

※まずは、かかりつけ医に相談。かかりつけ医で対応できない場合には...

- 1 医療機関を検索 新型コロナとインフルエンザ両方の診療ができる「埼玉県指定診療・検査医療機関」を検索システムからお探しください。
URL <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/hpsearch.html> [埼玉県 診療・検査医療機関 検索]
- 2 受診の予約 他の症状の患者さんとの接触を避けるため、医療機関ごとに発熱患者専用の受付時間を設定しています。
- 3 受診 必ず、予約した病院で受診してください。

受診先の確認・受診を迷う場合
埼玉県受診・相談センター
TEL 048-762-8026
月～土曜、朝9時～午後5時30分

受診先の確認・一般的な質問
県民サポートセンター
TEL 0570-783-770
24時間・無休年中



東京2020オリンピック柔道競技メダリスト 新井千鶴選手(寄居町出身)が県議会を訪問!!



9月8日(水)、東京2020オリンピック柔道女子70キロ級金メダル・男女混合団体で銀メダルを獲得した新井千鶴選手に県議会を訪問していただきました。また当日は、県知事より県スポーツ賞会長特別賞が贈呈されました。

新井千鶴選手は、寄居町立男衾中学校から児玉高校へ進学し、現在は三井住友海上女子柔道部で活躍し、2017年・2018年世界柔道選手権大会で2連覇を果たすなど、数々の大会で大活躍しています。

これからも新井千鶴選手のさらなる活躍を祈念し、引き続き皆様とともに全力で応援してまいります。誠にありがとうございます。



深谷市 本田

荒川右岸整備(植松橋下流樹木伐採)



川本・本田地区の皆様からご要望をいただいている荒川植松橋下流右岸(本田地区)の河川敷内樹木の伐採除根工事が、引き続き行われることになりました。9月14日(火)地元の皆様への説明会と意見交換会が開かれました。

東京パラリンピックで、村岡桃佳選手・小久保寛太選手が大活躍!

東京2020パラリンピックで深谷市出身の、村岡桃佳選手(トヨタ自動車)が、陸上女子100メートル(車いすT54)に出場し6位に入賞しました。また、陸上男子走り幅跳び(T20)に出場した深谷市岡在住の小久保寛太選手(かつみ会)が、7メートル1cmを跳び4位に入賞しました。村岡選手は、来年の冬季北京オリンピックで二刀流としてのスキー競技連覇に、小久保選手は3年後のパリ大会に向け、頑張っていただけけるよう地域の皆様と精一杯応援してまいります。

神尾たかよしは、皆様のご要望を確実に応えます。

寄居町 鉢形

城南中学校前(横断歩道ライン整備)



城南中学校正門前の横断を新たに設置いたしました。登下校の際非常に危険なので2学期が始まるまでに何とかしてほしいと要望をいただきました。警察署に早速対応していただきました。

美里町 中里

国道254号(交差点歩道整備)



国道254号美里町(中里)の手押し信号の歩道を整備してほしいと要望をいただきました。この信号箇所は、通学路としても利用されており、一刻も早い対策が必要となります。

寄居町 桜沢

県道深谷寄居線(交差点修繕)



県道深谷寄居線のガードレールが出過ぎ、町道への出入りが危険なため、隅切りをカットして欲しいと要望がありました。県土整備事務所に改善を要望し、1週間で工事が完了し地域の皆様の安全が確保できました。

美里町 阿那志

県道本庄寄居線(自歩道整備)



県道本庄寄居線(阿那志地区)の狭く危険な道路の自転車歩道整備のご要望を受けています。誰もが安心安全に通行できる道路を今後とも継続的に着実に整備してまいります。

美里町 広木

粉木川(砂防整備)



美里町広木地区の皆様より要望をいただいていた粉木川(ねりきがわ)の砂防整備(樹木伐採工事)の今年度分が終了いたしました。さらに継続し整備を進めてまいります。

各地域でのお困りごと御要望をお寄せください

連絡先 深谷市針ヶ谷399-1 TEL 048-585-3929



スマートフォンはこちら

ホームページ kamiotakayoshi.com

Facebook(フェイスブック)で情報発信中!



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 田村琢実 高橋政雄 神尾高善 諸井真英 木下高志 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井 明 宇田川幸夫 松澤 正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井 弘 渡辺 大 千葉達也 山口京子 逢澤圭一郎 高橋稔裕 阿左美健司 杉田しげみ(以上49名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様にかかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス対策に奔走した一年でありました。本県に於いても新型コロナウイルス感染者が一月二日に確認され、以後感染症対策に追われ、県議会に於いても、補正予算を令和三年度だけでも十三度審議すること、県民のコロナ禍に於ける生活の安心に繋げて参りました。また、コロナ対策に於ける県の執行体制の検証等を行

う「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」では、県民の安全・安心に繋がる意見・提言を行うことで、現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。

この他にも、県議団にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例県議会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例」が十月に施行されました。この条例は、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与すること

を目的とし、全国初で制定施行致しました。全国的に注目を頂いている条例であり、県民の皆様のご理解とご協力にてエスカレーター

の安全利用が促進されることを期待しています。また、昨年十二月定例会では、「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例」を自民党県議団にて提案し、成立致しました。犬・猫の殺処分ゼロに向けた取り組みや、動物取扱業者の更なる適正化、県の責務として市町村や動物関係団体等と連携すること等を明記し、本県の動物の愛護及び管理に関する取り組み全体を強化するものです。

今後も、時代の変化に即応できる政策に取り組みむことで、県民の側に立った県政運営を行って参ります。県民の皆様が自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が施行されました!

「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が、令和三年二月定例会にて自民党県議団の提案により上程され、賛成多数で可決成立致しました。この条例は、エスカレーターの安全な利用の促進に関し、県、県民及び関係事業者の責務を明らかにするとともに、エスカレーターの利用及び管理に必要事項を定めることにより、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的としています。

この条例では、利用者の義務として「立ち止まらう」と義務規定を設けました。罰則規定はありませんが、今後の利用状況を鑑み改正を検討することを附則に盛り込んでいます。

県民の皆様のご協力をお願い致します。

「全国初!! 条例化 埼玉県から始めよう」



埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例 令和3年10月1日から施行

この条例では、利用者の義務として「立ち止まらう」と義務規定を設けました。罰則規定はありませんが、今後の利用状況を鑑み改正を検討することを附則に盛り込んでいます。県民の皆様のご協力をお願い致します。

健全な動物共生社会を目指し!

『埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例』 改正条例を自民党県議団が提案・成立!

埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例は、県民の動物愛護の精神の高揚を図り、動物の健康及びその安全を保持するとともに、動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害を防止することを目的とした条例であります。本県では、この条例に基づき、動物の愛護及び管理に関する施策を実施してきたところで、今回、この条例を改正し、動物の愛護及び管理に関する取組全体を強化致します。

条例改正のポイントの1点目は、「犬・猫の殺処分数の削減」です。このため条例に「飼い主になる者としての責務」を新たに規定し、飼い主になる前に動物の習性などの知識習得に努め、自身の現在と将来にわたる生活環境などを考慮してその動物がその生命を終えるまで飼うことができるか、しっかりと考える責務を規定しました。また、適正に飼養できると認められる者に対する譲渡推進の姿勢をより強く示すため、県が譲渡できるとしている犬猫に、所有者不明で収容した犬猫などを明記いたします。2点目は、動物取扱業者の更なる適正化です。「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、令和3年6月1日から動物取扱業者に関する遵守基準が具体化されたところであり、本県としても動物取扱業者の更なる適正化に取り組みが必要があります。今回の条例改正では、「動物取扱業者の責務」を新たに規定し、「遵守基準を始めとする法令順守は基本として、最新の動物の知識の習得と情報の発信を主体的に取り組みする責務を規定しました。また、県の責務に連携規定を追加して、市町村や動物関係団体等と連携することや、動物愛護推進員の活動を新設して、県に対して情報提供をしてもらうことなどにより、本県の動物の愛護及び管理に関する取組全体を強化するものとしていきます。



条例改正案を検討する政務調査会の様子



本条例により、犬猫の殺処分数の削減や動物取扱業者の適正化、更には動物の愛護及び管理に関する取組全体の強化が図られるものと考えております。

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和四年度予算編成に関する 「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和四年度政策大綱(合計384項目)」及び「令和四年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望195項目・議員要望46項目)」を、大野知事に提出し、令和四年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和四年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだDXをはじめとする新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり等が不可欠であり、対応した予算を求めました。知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、ポストコロナに向けた検討をさせて頂きたいと前向きな返答がありました。

建設業関連の課題検討P.T



建設業関連の課題検討プロジェクト・チームでの審議の様子

自民党県議団では、県内建設業関連の課題を把握し、改善に努める為に「建設業関連の課題検討プロジェクト・チーム」を設置し、取り組みを行っています。

この度、県内の建設事業者に対して行ったアンケートの結果、発注者の県と受注者たる事業者の関係において、一方的で対等とは言えない現状が判明しました。また、最低制限価格の引き上げや発注の平準化などのご意見を賜りました。

このアンケート調査の結果を施策に反映するために、大野知事に対し改善を求めた要望を行いました。大野知事からは、契約書の順守の徹底を図ると回答がありました。また、更なる平準化とともに、最低制限価格の引き上げが実施されました。

県政のこと、身近なこと等、何でもご相談下さい!



県政刷新! 改革を前へ!
埼玉県議会議員
神尾たかよし

自民党県議団県政調査事務所
埼玉県深谷市針ヶ谷 399-1
電話: 048-585-3929
FAX: 048-585-5149
<https://kamiotakayoshi.com/>



若いチカラで県北創生!
埼玉県議会議員
小川しんいちろう

自民党県議団県政調査事務所
埼玉県深谷市長在家 1-4
電話/FAX: 048-583-6838
E-mail: spa783z9@wind.ocn.ne.jp
<http://www.ogawa-shinichiro.com/>

神尾たかよし 活動レポート NEWS



令和4年
1月14日
87号

県政報告

埼玉県議会自由民主党県政調査事務所 神尾たかよし事務所

埼玉県議会自由民主党議員団 総務会長

令和元年度 埼玉県議会議員 (第122代)

令和3年度 所属委員会
議会運営委員会 図書室委員会
●常任委員会/福祉保険医療常任委員会
●特別委員会/自然再生・循環社会対策特別委員会

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症対策に奔走した一年でありました。県議会においても補正予算審議を令和3年度だけでも13回行い、県民のコロナ禍における生活の安心に繋げてまいりました。

今後も、時代の変化に即応できる政策に取り組むことで、県民の側に立った県政運営を行ってまいります。本年も皆様の負託にお応えするため、何事にも全力投球で邁進いたします。皆様の更なるご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

熊谷市視察

さくらオーバルフォート (熊谷スポーツ文化公園)



私が会長を務める埼玉県議会ラグビー振興議員連盟で、『パナソニックワイルドナイツ』の本拠地となった熊谷スポーツ公園内の練習場、宿泊棟などを視察いたしました。埼玉県のスポーツ振興の為、大いに期待したいです。

「埼玉県エスカレーターへの安全な利用の促進に関する条例」が施行されました！



「埼玉県エスカレーターへの安全な利用の促進に関する条例」が、令和3年2月定例会で自民党県議団の提案により上程され、賛成多数で可決成立しました。この条例は、エスカレーターの安全な利用の促進に関し、県、県民及び関係事業者の責務を明らかにするとともに、エスカレーターの利用及び管理に関して必要な事項を定めることにより、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らす事のできる社会の実現に寄与することを目的としています。

この条例では、利用者の義務として「立ち止まってエスカレーターを利用しなくてはならない」と義務規定を設けました。罰則規定はありませんが、今後の利用状況を鑑み改正を検討することを附則に盛り込んでいます。県民の皆様のご協力をお願い致します。

「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例」改正条例を自民党県議団が提案・成立！

健全な動物共生社会を目指し！

昨年12月定例会では、「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例」を自民党県議団にて提案し、成立致しました。犬・猫の殺処分ゼロに向けた取り組みや、動物取扱業者の更なる適正化、県の責務として市町村や動物関係団体等と連携すること等を明記し、本県の動物の愛護及び管理に関する取り組み全体を強化するものです。



建設業関連の課題検討PT

自民党県議団では、県内建設業関連の課題を把握し、改善に勤める為に「建設業関連の課題検討プロジェクト・チーム」を設置し、取り組みを行っています。

県内の建設事業者に対して行ったアンケートの結果、発注者の県と受注者たる事業者の関係において、一方的で対等とは言い難い現状が判明しました。また、最低制限価格の引き上げや発注の平準化などのご意見を賜りました。

このアンケート調査の結果を施策に反映するために、大野知事に対し改善を求めた要望を行いました。大野知事からは、契約書の順守の徹底を図ると回答がありました。



「政策大綱」を提言・提案！

自民党県議団が令和4年度予算編成に関する「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出！

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和4年度政策大綱 (合計384項目)」及び「令和4年度埼玉県予算等に対する要望 (市町村要望195項目・議員要望46項目)」を、大野知事に提出し、令和4年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和4年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだDXを初めとする新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり等が不可欠であり、対応した予算を求めました。知事からは、予算編成に際しては各部局に周知を図り、ポストコロナに向けた検討をさせて頂きたいと前向きな返答がありました。

県道花園本庄線(榛沢新田工区)部分開通と(武蔵野工区)本郷地区内詳細設計完了の着工へ!



本庄早稲田地区から花園地区を結ぶ県道花園本庄線(全長14.8km)が、確実に目に見える形となつてまいりました。本年度中には、志戸川の橋梁工事も完了し、暫定的に岡部方面から後榛沢地区へ接続される予定です。また、花園地区へのバイパス道路として、(武蔵野工区)・本郷地区内の道路拡幅事業の詳細設計も完了し、用地買収・工事着工が予定される事から、昨年12月15日には、地元の皆様へ事業説明会を開催させていただきました。

一日も早く本庄市から花園インターへと、そして榛沢・本郷・用土・武蔵野地区皆様方の利便性を向上させ、県北地域の活性化につながるよう全力で取り組んでまいります。



神尾たかよしは、皆様のご要望を確実に応えます。

美里町
円良田

県道広木折原線(道路改築)



美里町広木地区の皆様より要望をいただいていた県道広木折原線(円良田湖)の拡幅工事が本格化しています。この道路は美里町と寄居町を繋ぐ地域の主要な道路ですが、

美里方面より円良田湖(寄居方向)をのぞむ。



円良田湖周辺は狭隘で大型車の通行が困難な状況となっています。一日も早く拡幅整備事業が進みますよう真剣に取り組んでまいります。

寄居町
秋山

県道坂本寄居線(道路改築)



寄居町秋山地区の県道坂本寄居線、急カーブ区間の拡幅工事が本格化しています。安全安心な道路が早期完成できるように取り組んでまいります。

深谷市
山河

県道針ヶ谷岡線(自歩道整備)



県道針ヶ谷岡線(山河地区)の自転車歩道整備の一部工事が始まります。誰もが、安心して安全に通行できる道路づくりを今後とも着実に整備してまいります。



ガソリンスタンド南、東側より順次工事が始まります。

深谷市
榛沢新田

県道蛭川普濟寺線(歩道整備)



小学校の通学路で大型車の通行が非常に多く、危険な箇所があるとの要望いただきました。早急に現地を確認し、熊谷県土整備事務所に対応していただきました。



12月定例議会 12月2日～12月22日 (21日間)

12月県議会一般質問に登壇!!

神尾たかよし一般質問要旨

(令和3年12月14日登壇) 一部抜粋

1. 県民を守る視点から

(1) 財政を守る

Q 埼玉県が先導し全国知事会での議論を重ね、国と地方の協議の場で、

- ① 令和4年度以降の臨時財政対策債の発行廃止
- ② 地方の一般財源総額を実質的に確保した上で、令和3年度までに発行予定の臨時財政対策債を全額償還するための交付税措置を国に強く求めていくべきと考えるが、見解を伺う。

A 臨時財政対策債の元利償還金は、後年度の地方交付税で全額措置される見込みですが、地方の財政需要を的確に地方財政計画に計上し、適切な地方交付税が措置されるよう国に求めていくことが必要であります。

毎年の政府要望をはじめ、全国知事会などで地方の一般財源総額の確保や、臨時財政対策債の廃止などについて要望してまいります。

また、令和3年11月に開催された国と地方の協議の場において、地方六団体の意見として臨時財政対策債の廃止を含めた抜本的な改革などを申し入れたところでもございます。

今後も、私自ら、全国知事会などの様々な機会を捉え、臨時財政対策債の廃止を含めた抜本的な改革の実現に向け、粘り強く取り組んでまいります。

(2) 人口を守る

Q 第1子、第2子を産んだら50万円、第3子以上を産んだら100万円を祝い金として県と市町村で2分の1ずつ負担することで県全体で出生率を考える仕組みを提案する。子供を産み、安心して育てられる全国一暮らしやすい埼玉をつくることについて見解を伺う。

A 議員御提案の出産時における高額な祝金の給付はメッセージ性が高く、県民にとっても分かりやすい取組であると考えますが、県と市町村に多額の財政負担が生じるという課題もございます。

出産・育児に臨む世代を対象として、子育てに関する経済的負担の軽減を思い切っていくことは有効だと思いますが、これは全



最終日の最後を締めくくる質問者として登壇し、県民を守る視点から幅広く埼玉県の今後あるべき施策案などを力強く訴えました。

国内的な課題であり、多額の財政支出を伴って行う施策について、まずは国で安定的な財源を確保してから行うことが適当であると考えます。

(3) 農業を守る

Q 米価の下落に当たって、県独自で農家の収入を補填するなど、農家を守る考えはあるか伺う。

A 米生産の収益力を高めるために、まずは生産コストの低減が重要であり、農地の集積・集約化や、省力栽培技術、スマート農業の普及に取り組んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響のみならず、米の需要は長期的な減少傾向にあり、主食用米以外で収益を確保できる作物への転換を通じて、需要に応じた生産を推進しています。

一方、販売の面においては、県産米のおいしさを消費者に伝え、将来にわたる安定的な販路を確保することが重要です。

このため、米価下落に対する県の独自対策として、11月から行っている「県産米緊急応援キャンペーン」や、今議会に補正予算案として提案させていただいた販売促進対策を進めてまいりたいと考えます。

■ 12月議会で以下の補正予算を議決いたしました。(補正後累計:2兆6,375億5,877万6千円)

【第12号】 一般会計 36億1,663万円

経営環境の変化に対応して事業の再構築に取り組む中小企業や、キャッシュレス決済の導入に取り組む商店街への支援策など、ポストコロナ・ウイズコロナを見据えた経済活動活性化を重視した予算編成となりました。

【第13号】 一般会計 383億1,641万8千円

無料PCR検査・抗体定性検査のための予算となっています。



(4) 道路環境を守る

Q 県管理道路の維持管理手法に地域の人が主体的に道路管路を行えるような仕組みづくりを考えるべき。

A 議員御提案の地域で道路管理を担っていただくことは、維持管理コストの縮減だけでなく、定期的に作業を行うことで、地域への愛着や地域コミュニティの醸成が期待できます。

しかしながら、地域によっては作業の担い手の確保や安全面、公平性のある費用の負担のあり方などの課題もございます。

今後、道路環境を守る方策について、作業に携わる方や道路利用者の安全を最優先にしながら、地域の方々のお力をお借りできる仕組みづくりを研究してまいります。

(5) 河川を守る

Q 浚渫のこれまでの取組方法、緊急浚渫推進事業の実施予定及び浚渫事業に地域住民の声を反映することについて県土整備部長の見解を伺う。

A 限られた予算の中で優先順位をつけながら行ってまいりました。こうした中、令和2年度に緊急浚渫推進事業が創設され、有利な地方財政措置を活用することで、河川の浚渫事業を計画的に実施することが可能となり、県では令和6年度までの5か年間で、点検により把握した143箇所について、浚渫事業を実施する予定としております。

令和2年度から42箇所において着手し、令和3年度は新たに43箇所着手しております。点検結果や住民・市町村からの情報を踏まえ、土砂の堆積状況を確認し、適切に浚渫事業を実施してまいります。

2. JR川越線の複線化について

Q 複線化した場合にどれだけ人が増え、まちづくりや観光によりどれだけ経済効果があるのかをシミュレーションしたことがあるか、県が主体的に、あきらめることなく追及するにはこうした努力がなければならないと思う見解を伺う。

A JR東日本は、将来、利用人口が増えたときには、複線化を検討する可能性はあるとの見解を示しています。

このため、JR川越線の複線化に向けては、沿線自治体がまちづくりなど更なる利用人口の増加に向けて努力していただくことが重要だと思います。

県としては、さいたま市、川越市と連携をしながら、沿線地域の活性化を図るなど、複線化に向け、粘り強く議員御指摘のとおり諦めることなく取り組んでまいりたいと思います。

3. 寄居町三ヶ山3号埋立地の跡地利用について

Q 3号埋立地の跡地をグラウンドゴルフ場とし、多くの方の健康・交流を図りながらの観光や、彩の国資源循環工場のPRをするのはいかがか、見解を伺う。

A 環境整備センターの3号埋立跡地にグラウンドゴルフ場を、という具体的な御提案をいただきましたが、議員お話のとおり、埋立跡地につきましては、県、寄居町、地元関係者で構成する跡地利用検討会議において、地域振興につながる利用方策を検討することとしております。

3号埋立地は、既に廃棄物の埋立が終了し、令和3年3月に最終覆土が完了したところであり、現在は、地盤の安定化を図っているところですが、

地盤の安定化には、概ね年から3年程度を要しますが、その跡地利用に係る検討に着手すべき時期が来ていると考えられることから、来年2月を目途に、第1回検討会議を開催したいと考えております。



質問に答える大野県知事

4. 緑化計画届出制度について

Q 緑化計画届出制度の「緑地を創造する」という目的を確実に実現させるため、より実効性のある方策が必要と考えるが見解を伺う。

A 本県では、都市化の進展に伴う緑地の減少を踏まえ、「ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例」で、一定の土地利用に対し、緑化基準に基づいて緑の創出を求める緑化計画届出制度を平成17年に創設いたしました。

こうした基本的な考え方を踏まえ、届出制として民有地においても緑の創出を図っていただくこととし、その維持管理については努力義務としております。

今後も、届出後の状況を調査するとともに、事業者などにそれぞれの事情をよく確認の上、適切な維持管理を働きかけ、創出された緑が継続的に保全されるよう努めてまいります。

5. 下水道事業用地の有効活用について

Q 活用できる空間をフルに使い、収入の改善に一層努めるべきと考えるが、下水道事業管理者の見解を伺う。

A 議員御指摘のとおり、人口減少に伴う収入の減少は、下水道施設の適正な管理を行う上で、非常に大きな課題であると認識しております。

大規模な太陽光発電施設を2か所の水循環センターに導入し、年間約4,000万円の収益を得るなど、新たな収入確保に務めてまいりました。

また、県内4か所の水循環センターの上部を市に提供いたしまして、市が公園を整備することにより、地元の方々に御利用いただいております。

公営企業の基本原則は、経済性を発揮するとともに、公共の福祉を増進することにありますので、今後とも、用地の有効活用につきまして柔軟かつ積極的に取り組んでまいります。

6. グーグルマイビジネスを活用した県内企業等の支援について

Q 埼玉県が企業向けにグーグルマイビジネスの最適化支援を行い、県の魅力も合わせて発信していくことで可能性が拡大すると考えるが、所見を伺う。

A 議員御指摘のとおり、グーグルマイビジネスのページを魅力的なものとすることで顧客に対するアピール度が高まり、事業者が販路拡大を図る上で効果的な手段になると考えます。

また、魅力的な県産品や店舗情報が広く県内外に拡散し、多くの人に知っていただくことで埼玉県のイメージの向上や観光振興につながるものと考えます。

現在、県では「埼玉県DX推進支援ネットワーク」を立ち上げ、国や経済団体、金融機関など幅広い機関と連携した支援を進めています。

グーグルマイビジネスなどのウェブマーケティングを関係機関が連携して支援することにより、県内企業の販路拡大につなげてまいります。



かみお 神尾たかよし NEWS

令和4年
3月31日
89号

県政報告

埼玉県議会自由民主党議員団 副団長
令和元年度 埼玉県議会議長 (第122代)
令和4年度 所属委員会
● 常任委員会 / 環境農林常任委員会
● 特別委員会 / 自然再生・循環社会対策特別委員会



県議会 2月定例会

(2022年2月17日～3月25日)

37日間開催

県政史上最大規模(一般会計予算)

2兆2,284億5,900万円を議決

直面する危機からの脱却と日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現へ!

2月定例会では、過去最大となる2兆2,284億5,900万円の一般会計当初予算等を議決し、3月25日に閉会しました。

「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」の2つを柱に掲げた令和4年度当初予算は、最重要課題である新型コロナ対策として約1,845.5億円が計上され、ワクチン接種医療機関等への支援・高齢者施設などのクラスター対策の強化などが盛り込まれました。また、ウィズコロナの下、その有用性が高まっているDX(デジタルトランスフォーメーション)実現への推進についても、県庁のDX化を進めるために約1.8億円、中小企業のDX化支援に約1.8億円、キャッシュレス決済の導入を進める商店街に対する支援に約1.4億円などが計上されました。

今後も、県民の安心・安全を最優先に、時代の変化に即応した政策に取り組み、微力ではありますが常に皆さまの側に立った県政発展を心がけてまいります。皆さまの更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

埼玉県議会議員

神尾高喜



副委員長として予算委員会を運営

令和3年度補正予算【第14号・第15号】を議決!

補正予算【第14号】は549億3,564万3千円で、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく補正予算に対応し、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に係る公共事業の追加や、県立学校及び社会福祉施設等の老朽化対策、災害時の情報伝達・収集体制の強化等の経費となります。

補正予算【第15号】は121億4,350万3千円で、今後の感染動向を見極め実施予定の観光応援キャンペーンの規模拡大にかかる経費や、国の補正予算への対応として、不妊治療が令和4年度から保険適用となることに伴う助成に要する原資となる基金や新型コロナ対策推進基金への積み増しなどが盛り込まれています。補正後の令和3年度の予算累計額は2兆7,046億3,792万2千円となりました。

埼玉県
自民党県議団
提案

事業の執行に適切な対応を求める附帯決議(案)

「令和4年度埼玉県一般会計予算」は、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた事業により社会経済活動との両立、新たな日常の創出が不可欠となるが、費用対効果に懸念を抱かざるを得ない事業が散見された。事業の必要性や執行方法について十分検討し、適切な対応を求める。以下9項目の付帯決議が決議されました。

- 国内で新型コロナウイルス感染症が発生し2年が経過したが収束の気配は感じられない。これまでの感染症対策を精緻に検証し、知見やエビデンスに基づき感染症対策を進めること。
- 県証紙制度については、DXの推進を加速化する流れの中で時代に合った形に改める時期に来ている。県民の利便性を図るため現状から改善策を積み上げるのではなく、バックカスティングの発想で県証紙制度の廃止を確実に進めること。
- 幼稚園教諭の処遇改善については、令和4年10月分以降も教育支援体制整備事業費交付金の負担割合を維持することを国に強く要望するとともに、県において、県の負担割合を増やし、私立幼稚園の負担割合が変わらないよう措置をするなど、幼児教育のための人材確保を支援すること。
- 彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修に当たっては、様々な専門家の意見を取り入れ、アフターコロナを踏まえた感染症対策やデジタルインフラに対応した日本一安心・安全な劇場に整備すること等で来場者を増やし、赤字体質の解消に取り組むこと。

- 観光振興について、多くの方々に本県を訪れてもらうために観光資源の新たな発掘やブラッシュアップが必要であり、効果的なプロモーションも欠かせない。観光予算の増額を図るとともに埼玉県物産観光協会(DMO)がPRで話題づくりができるノウハウを持ち自主財源を稼げる強い組織になるよう支援を強化すること。
- 多子世帯応援クーポンについては、子育て支援と事業者支援の両面を追い求める余りクーポンの利用に固執している。手続きが簡単で使いやすい現金給付等、子育て世帯にとってより良い制度となるよう検討すること。
- 保育士の確保に当たっては、近隣自治体との人材の争奪戦になっている。国への公定価格の改善を強く要望するとともに、本県独自に給与の上乗せ補助を行うことで、他の自治体との保育士の獲得競争に負けないよう人材確保策を講じること。
- コバトン健康マイレージについては、依然として事業開始当初の目標を大きく下回っている。令和4年度に事業検証を精緻に行うことで費用対効果を見極めるとともに、事業の継続に当たっては、市町村への事業の移管も含め聖域なき改革を断行すること。
- 看護職員の確保を推進するために、ナースセンターへの登録者数の増加に向けた取組を強化すること。県独自のインセンティブの付与、登録の簡素化など、利用者目線に立って検討すること。



**埼玉県
自民党県議団
提案**

かみお 神尾たかよし NEWS

「埼玉県ひきこもりの支援に関する条例」可決!

支援の機会に恵まれず孤立するケースが多い、ひきこもりの当事者と家族の支援環境整備に向けた条例案を、2月定例会で提出し可決されました。

この条例では県の責務として「ひきこもりの支援を総合的に実施し、市町村、民間支援団体などと相互に連携を図る」ことを求めました。また、支援団体への情報提供や、必要な財政上の措置を講ずるよう要請しています。

条例の基本理念として「支援は当事者と家族が孤立しないよう、必要に応じて社会との関わりを持てるよう行う」事を目的とし、同時に「支援は当事者の意思を尊重して行う」こととしています。

また近年、本人の意思を無視して強引に外へ出し、高額な費用を請求する「ひき出し屋」と呼ばれる悪質業者によるトラブルも問題となっています。

ひきこもりの支援環境を整備することにより、県民誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指して行きたいと思えます。



「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議」を決議



浦和駅前でウクライナ緊急支援募金を行いました。

ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、力による一方的な現状変更を認めないと言う国際秩序の根幹を揺るがすとともに、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法・国連憲章違反であり、断じて容認することはできません。

埼玉県議会では、今回のロシアによるウクライナへの侵攻に対し強く抗議するとともに、軍の即時撤収、国際法の順守を強く求める決議を全会一致で可決しました。

コロナかも、と思ったら...

<p>発熱などの症状が「ある」方</p>	<p>埼玉県指定 診療・検査医療機関へ</p> <p>埼玉県ホームページでお近くの診療・検査医療機関を検索できます。必ず事前に予約のうえ受診をお願いします。</p>
<p>濃厚接触者の方</p> <p>陽性者の方の同居のご家族など詳しくは埼玉県ホームページ「濃厚接触者の考え方について」でご確認ください</p>	<p>受診先の確認など</p> <p>埼玉県受診・相談センター 048-762-8026 (9:00-17:30 土日祝も対応) 県民サポートセンター 0570-783-770 (24時間・年中無休)</p>
<p>発熱などの症状は「ない」が感染に不安を感じている方</p> <p>※感染拡大傾向時に知事が要請した場合</p>	<p>無料検査実施薬局等へ</p> <p>特設サイトでお近くの実施薬局等を検索できます。受検の際は事前に必要な持ち物などを当該薬局等にご確認ください。</p> <p>検査無料相談窓口 0570-200-607 (9:00-22:00 土日祝も対応)</p>

令和4年度 深谷市・寄居町・新井町 皆さんの要望を予算として確

阿那志 舗装道整備(本庄寄居線)

小茂田 舗装道整備(月玉町廻り)普濟寺線

榛沢通り 道路改築(花園本庄線)

小山川 河川改修(藤治)

関 河川改修(志戸川)

河川管理施設を修繕します。

南十条 交通安全事業(熊谷児玉線)

誰もが安全に通行できる道路を整備します。

阿那志 舗装道整備(熊谷児玉線)

山崎針ヶ谷 河川改修(藤治)

甘粕 交通安全整備(本庄寄居線)

用土 砂防維持修繕(藤治)

新上宿橋 橋りょう修繕(熊谷児玉線)

傷んだ橋を修繕します。

猪俣 舗装道整備(本庄寄居線)

用土 舗装道整備(小前田児玉線)

廣木 砂防維持修繕(粉木川)

護岸を整備します。

円良田 道路改築(広木折原線)

安全に通行できるよう道路を拡幅します。

末野 道路改築(国道140号)

快適に通行できる道路を整備します。

末野 河川改修(少林寺川)

寄居 バリアフリー安全対策(坂本寄居線)

秋山地区 災害防除(坂本寄居線)

寄居 河川改修(荒川)

鉢形 交通安全(坂本寄居線)

鉢形 交通安全(坂本寄居線)

各地域でのお困りごとご要望をお聞かせください。

ある県北地域へ！

美里町

保しました。

深谷・美里・寄居

県北の力

2022 (令和4年) 3月

上武大橋 橋りょう修繕(伊勢崎深谷線)

本庄妻沼線 道路改築(本庄妻沼線)

清水川 河川改修(清水川)

狭い道路を拡張整備します。

清水川 ポンプ設備整備(清水川排水機場)

ポンプなど排水機場を維持整備します。

唐沢川 河川改修工事

原郷 舗装道整備(弁財深谷線)

傷んだ舗装道路を修繕します。

長在家 舗装道整備(国道140号)

傷んだ舗装道路を修繕します。

川本陸橋 橋りょう修繕(国道140号)

橋りょうのひび割れ補修をします。

本田 自歩道整備(熊谷寄居線)

誰もが安心して通行できる道路を作ります。

本田 道路改築(熊谷寄居線)

安心安全な道路を整備します。

本田 舗装道整備(本田小川線)

牟礼 交通安全(赤浜小川線)

牟礼 道路改築(赤浜小川線)

鉢形 砂防施設(関山川)

鉢形 砂防施設(宮川)

粟梨子 交通安全(国道254線)

● — 令和4年度予算対応箇所(令和3年度2月補正も含む)

■県政に対するご意見・ご要望は



埼玉県議会 自由民主党県政調査事務所

神尾たかよし事務所まで

深谷市針ヶ谷399-1 TEL 048-585-3929

FAX 048-585-5149



一般会計当初予算

令和4年度の主な 新規・拡大事業を 報告します。



一部抜粋

直面する危機からの脱却、回復・成長

新型コロナウイルス感染症の拡大防止

■検査・医療提供体制等の確保

..... 1,705億1,649.9万円

- 検査・医療提供体制の強化(一部新規) ... 1,379億9,614.5万円
- 軽症者等の療養体制の確保 283億3,184.6万円
- 県民相談体制の強化 14億3,687.9万円
- 感染者フォローアップ体制の強化 26億7,496.8万円

■新型コロナワクチン接種の推進 99億7,026.5万円

- 接種医療機関等への支援(新規) 69億9,678万円
- 埼玉県ワクチン接種センターの運営(4か所に拡充) 26億9,042.2万円
- 副反応等の相談窓口の運営・正確な情報の周知 2億8,306.3万円

■福祉施設における感染拡大防止 27億7,462.4万円

- 介護施設等における感染拡大防止対策への支援 9億8,230万円
- 児童福祉施設等における感染拡大防止対策への支援(新規) 14億6,035.5万円
- 福祉施設におけるリリーフナース制度の構築(新規) ... 5,286.4万円

ウィズコロナ下での経済回復・成長

■事業再構築の取り組み等への支援 2億9,962.4万円

- 中小企業事業再構築支援事業(新規) 2億3,121.6万円
- 中小企業経営革新促進事業 6,172.9万円
- 地場産業のチャレンジ支援事業 667.9万円

■中小企業におけるデジタル人材の確保・育成の支援

..... 2億3,980.1万円

- 即戦力となる人材確保を支援(新規) 1億7,438.4万円
- デジタル分野における人材の育成を支援(新規) 2,136.7万円
- 女性のデジタル人材育成推進事業(新規) 4,405万円

■デジタル化によるビジネスモデル の転換支援 5億5,225.6万円

- 県内中小企業のDX推進(一部新規) 1億6,052.9万円

- ※県内企業のDX推進(新規) 2,594.8万円
- 経営革新デジタル活用支援事業(新規) 1億1,513万円他
- 技術・製品の開発支援とAI・IoTの活用支援(一部新規) ... 2億2,468.9万円
- オンラインを活用した販路開拓支援(一部新規) 2,317.5万円
- キャッシュレス決済の導入に取り組む商店街への支援(新規) ... 1億4,386.3万円

■行政のデジタルトランスフォーメーション (DX)の推進 19億454.2万円

- DXの推進(一部新規) 7億5,232.4万円
- ※デジタルイノベーションツールの運用予算額 5億5,283万円
- 情報連携プラットフォーム整備計画事業(新規) 4,508.5万円他
- DXの推進に向けた基盤整備(新規) 11億5,221.8万円
- ※基幹系業務システムの最適化 5億1,172.4万円他

■エッセンシャルワーカーの処遇改善 136億3,125.5万円

<p>看護師</p> <p>収入を1%程度引き上げ (月額4,000円)</p> <p>※10月以降は診療報酬の改定により3%程度へ</p>	<p>保育士、幼稚園教諭、 介護施設や障害福祉施設職員等</p> <p>収入を3%程度引き上げ (月額9,000円)</p>
---	---

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

■交通安全対策の推進

- 交通安全施設整備 52億9,436.9万円
- ※通学路における歩行者用信号機増設による安全対策の推進
ゾーン30プラスの整備による生活道路対策の推進他
- 歩道や自転車通行空間の整備 ... 26億6,594.3万円
- 子どもの命を守る通学路の緊急対策(新規) ... 8,000万円
- ※令和4年度は170箇所の安全対策を実施



■ケアラー・ヤングケアラーへの支援

- ヤングケアラー支援体制の整備(新規) ... 2,991.1万円
- ※ヤングケアラー支援推進協議会の設置・検討、コーディネーター
の配置/ヤングケアラーの早期発見・把握の体制づくり他
- ケアラー支援事業の推進 7,036.7万円
- ※市町村等支援事業他
- 教育相談支援体制(ヤングケアラー等)の充実(一部新規) ... 10億751万円



■地域の医療体制の充実

- 遠隔妊産婦モニタリング支援設備を活用した産科医療体制整備事業(新規) 4,511.4万円
- 大動脈解離の救急医療体制の整備(新規) 639.3万円
- 医師確保対策の推進(一部新規) 9億130.9万円
- ※県総合医局機構の推進
医師にとって魅力ある埼玉ブランドの構築(一部新規)他
- 埼玉版ネウボラの推進(一部新規) 2億6,899.5万円
- ※母子保健と児童福祉の一体的相談支援体制の構築(新規)

■児童虐待防止対策の強化

- 児童虐待相談対応の充実(一部新規) 1億3,055.2万円
- ※音声認識による記録の自動作成システムの導入や児童虐待の類似事例
検索機能の追加等ICTを活用した児童相談所の業務効率化他
- 市町村における相談体制強化の支援(一部新規) 3,907.3万円

■多様なニーズに対応した教育の推進

- 学習環境のデジタル化(一部新規) 7億6,195.6万円
- ※県立学校におけるICT環境整備と活用支援事業(一部新規)
データサイエンス・AIリテラシー活用における調査研究(新規)
県立高校オンライン講座の実施(新規)他
- いじめ・不登校対策相談体制の充実(一部新規) 9億7,825.1万円
- ※スクールカウンセラーの配置/オンライン相談の実施(新規)他
- 特別支援学校の整備(一部新規) 48億9,513万円

■誰もが生き生きと活躍できる社会へ

- 若者人材の県内企業への就職支援(一部新規) ... 5,992.2万円
- ※県内企業合同インターンシップ情報説明会の開催(新規)他
- 女性のキャリアアップへの支援(一部新規) ... 2億4,832.5万円
- ※潜在的求職者チャレンジ応援(新規)
多様なニーズに対応した就業支援他
- 障害者が安心して暮らせる場の確保(一部新規) ... 16億2,256.9万円
- ※重度障害者グループホームの整備・支援体制の強化(新規)他
- 分身ロボットを活用した障害者就労支援事業(新規) 170.8万円
- LGBTQへの支援(一部新規) 2,000.7万円
- ※大学生向けアライの取り組み(新規)/企業を対象とした
LGBTQ指標制度の導入(新規)/相談窓口の設置(新規)
LGBTQ懇話会の開催(新規)他



■持続可能な成長を実現する

- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進(一部新規) ... 1億4,282.1万円
- ※プロジェクトに取り組む市町村への助成(新規)他
- 国直轄事業と連携した骨太の道づくり 47億4,447万円
- ミッシングリンク(幹線道路の未整備部分)の解消 ... 35億2,844.5万円
- 橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強 ... 144億3,175.2万円
- 市街地の強靱化のための無電柱化の推進 37億3,022.3万円
- 空き家対策の促進(一部新規) 2,277.8万円
- ※空き家等対策促進事業/中古住宅流通・住み替え促進事業/専門家を
活用する「空き家コーディネーター」を配置(新規)他
- 河川・砂防施設の管理徹底、強化 95億7,820.4万円
- Next川の再生の推進(一部新規) 7億291.7万円
- ※水辺deカーボンニュートラルの推進(新規)他
- 埼玉ブランド農産物推進事業(一部新規) ... 739.6万円
- ※県産農産物ブランド力強化事業(一部新規)他
- 果樹産地育成事業(新規) 1,600万円
- 水田フル活用支援事業(一部新規) 2,744万円
- ※主穀作生産振興対策事業/麦・大豆等作付拡大支援事業(新規)他

